

一般社団法人 大阪市学校歯科医会報



目 次

会長挨拶	3
平成30年度 第2回 支部長会	4
第42回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会	5
学校歯科医生涯研修制度 更新研修会	7
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール	9
第82回 全国学校歯科保健研究大会	11
第82回 全国学校歯科保健研究大会に参加して	12
平成30年度 全国学校保健・安全研究大会	14
平成30年度 全国学校保健・安全研究大会に参加して	15
第68回 全国学校歯科医協議会 / 第68回 全国学校歯科医協議会に参加して	16
社会見学会 京セラドームにて野球観戦	17
社会見学会に参加して	18
平成30年度 学校歯科保健連絡協議会	20
平成30年度 大阪二学歯連絡協議会	26
平成30年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会	27
平成30年度 子どもの歯を守る懇談会 開催状況	29
大阪市立玉出幼稚園 文部科学大臣賞の受賞	30
支部の運営について【支部長座談会】 Part II	31
平成30年度 慶びに輝く先生方 / お知らせ	36
会務報告	37
学校歯科保健教材器具貸出 申込書	
市学歯ホームページ更新情報 / 編集後記	

表紙の題字 渚 紀代司 前副会長

会長挨拶



一般社団法人大阪市学校歯科医会 会長 岡本 卓士

寒さの厳しい毎日が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。日頃は学校歯科保健の活動や大阪市学校歯科医会の事業にご尽力たまわり、厚く御礼申し上げます。

任期が2年間の現執行部も1年半を過ぎましたが、その間も大阪市学校歯科医会の事業を順調に運営することができましたのも、会員の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

平成30年度の事業として重要視しましたのは、日学歯主催の生涯研修制度の基礎研修の資格を延長するための更新研修会を開催する事でした（7～8ページ参照）。市学歯で基礎研修会を受講された会員は477名おられましたので、その先生方を対象にして2回の更新研修会を開催したところ431名の先生方に受講していただき、基礎研修の資格を更新することができました。この更新研修会は10年振りに改訂される学習指導要領に我々学校歯科医も対応するための研修会でございますので、受講された先生方はその研修内容を活かして今後の学校歯科保健活動を実施していただくようお願い申し上げます。

毎年第2回支部長会の後に開催しております指導者講習会ですが、今年は日本学校歯科医会の竹内純子常務理事と野村圭介常務理事による、同じ生涯研修制度の「専門研修の保健教育」の講演と体験実習を行いました（27～28ページ参照）。その「保健教育」は本来でしたら6時間あまりの研修時間ですが、それを2時間のダイジェスト版に短縮して特にグループワークに時間を割きました。その中のワークショップでは、班分けした支部長先生方は積極的にプレスト会議をされて意見を交換し、短時間ではございますが各班の主題に対する学習指導案を作成し発表していただきました。この研修によってアクティブラーニングを取り入れた「講演を聞くだけの授業ではなく体験型」の主体的で対話的な深い学びができる学校歯科教育が大阪市全体に広まることを期待しております。

また、毎年10月に大阪市の学校保健関係者が一堂に集まって、大阪市における学校歯科保健活動の情報や意見交換をする学校歯科連絡協議会でございますが、今回の会報では参加された方々の御発言を基に作成した議事録を写真入りの原稿に改編して掲載いたしました（20～25ページ参照）。大阪市の学校歯科保健事業に対する各部会や企業の方々の御発言は具体的で保健指導の様子が手に取るように分かると思います。その中で2名の方が、大阪市学校歯科医会で昭和63年から理事に就任され平成11年から17年まで専務理事を務められた内海明夫先生との思い出を語られました。内海先生は担当の今福小学校の保健指導に尽力されただけでなく、我々の年代が理事就任当時に教育係として学校歯科の理念や知識を御教授頂きました。内海先生の貴重な数多くの教えは現在の大阪市学校歯科医会の礎になっていると深く感謝しております。

現執行部の任期も6月末までの後5カ月間になりました。その短い間ではございますが、会員の皆様のご支援とご協力を賜りながら、大阪市の学校歯科保健を充実し発展させていきたいと思っておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

— 平成30年度 第2回 支部長会 —

日 時 平成30年10月20日(土) 午後1時30分～3時
場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

開会のことば

副 会 長 西 川 肇

会 長 挨拶

会 長 岡 本 卓 士

会 務 報 告 (6月17日～10月19日)

報 告 事 項

1. 平成29年度定時総会
2. 日本学校歯科医会 第95回定時総会
3. 学校歯科医生涯研修制度 第1回更新研修会
4. 大阪市学校歯科保健連絡協議会
5. 社会見学会「京セラドーム野球観戦」開催報告
6. 大阪市学校保健会 常任理事・理事会／定時総会
7. 第42回近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会
8. 第40回近畿学校保健連絡協議会
9. 大阪府学校歯科連合会
10. 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会
並びに 図画・ポスター展示 11 / 16～12 / 5
11. 子どもの歯を守る懇談会
12. 全日本学校歯科保健優良校表彰校 文部科学大臣賞候補園
玉出幼稚園での実地審査
13. 学校歯科医生涯研修制度 第2回更新研修会
14. 平成30年度 第59回 大阪市学校歯科保健研究大会
15. 市学歯会報 176号掲載内容について
16. 平成29年度年間活動報告書 会員の記載事項
17. 中学校「歯・口の健康づくり」実施内容
18. 小学校における今後の保健指導について
19. DMFT指数の高い小学校・中学校について
20. その他・市学歯主催のマウスガード作成実習について

専務理事 西 本 達 哉
副 会 長 西 川 肇
常務理事 林 昭 典
常務理事 川 上 力
常務理事 美 島 達 平
副 会 長 長 崎 三 男
副 会 長 井 手 成 信
会 長 岡 本 卓 士
副 会 長 井 手 成 信
常務理事 羽 生 卓 也
常務理事 林 昭 典
副 会 長 西 川 肇
常務理事 林 昭 典
専務理事 西 本 達 哉
常務理事 羽 生 卓 也
常務理事 川 上 力
会 長 岡 本 卓 士
会 長 岡 本 卓 士
常務理事 河 野 好 昭

質 疑 応 答

- 辻本 研二 東淀川区支部長 (フッ化物洗口・医療券の発行について)
藤原 成樹 東住吉区支部長 (DMFT指数の高い学校への対応)
林 正純 東成区支部長 (来年度の更新研修会の開催について)

閉会のことば

副 会 長 井 手 成 信

— 第42回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会 —

平成30年度の近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会は石川県歯科医師会の主催で金沢市で開催されました。4つの協議題と17の情報交換が提出されて2時間半の間にそれらに対する活発な協議が行われました。

日学歯からは川本会長、長沼専務が参加されて、それぞれの協議題に対して日学歯のコメントを頂きました。大阪市から提出した協議題は西本専務が、情報交換は西川副会長が主旨説明を行いました。特に今年



開催されます更新研修会に関しては兵庫県や京都府からも同じ協議題が提出され、この研修会に対する関心の高さが解りました。市学歯での更新研修会はこの協議会で得た日学歯の見解や、各団体の情報を参考にして開催していきたいと思えます。

日 時 平成30年8月25日(土) 午後2時より

場 所 ホテル日航金沢 4階 鶴の間

日 程

司会 石川県歯科医師会

学校歯科委員会委員長 室 木 俊 美

1. 開 会 の 辞

2. 当 番 県 挨 拶

石川県歯科医師会 会 長 蓮 池 芳 浩

3. 来 賓 挨 拶

日本学校歯科医会 会 長 川 本 強

石川県教育委員会 教育次長 升 屋 和 夫

4. 来 賓 紹 介

日本学校歯科医会 会 長 川 本 強

日本学校歯科医会 専務理事 長 沼 善 美

石川県教育委員会 教育次長 升 屋 和 夫

5. 出 席 者 紹 介

当会からの参加者

岡 本 卓 士 会 長 西 川 肇 副 会 長

井 手 成 信 副 会 長 長 崎 三 男 副 会 長

西 本 達 哉 専務理事 讚 井 茂 行 理 事

6. 座 長 選 出

座 長

石川県歯科医師会 副 会 長 牛 村 章

副座長

和歌山県歯科医師会 副 会 長 井 内 洋

7. 協 議

- (1) 日学歯更新研修会各団体の開催方法について
- (2) 口腔機能発達不全症について
- (3) 学校歯科検診における「要受診」者の未受診について
- (4) 日本学校歯科医会代議員会の決議事項変更について

大阪市学校歯科医会
兵庫県歯科医師会
滋賀県歯科医師会
滋賀県歯科医師会

8. 情 報 交 換

- (1) 学校におけるフッ化物洗口剤について
- (2) 口腔機能発達不全症に対する学校での対応について
- (3) マウスガードの普及について
- (4) 校務支援システムの状況
- (5) マスコミの学校保健報道への対応について
- (6) 就学時健康診断の実施について
- (7) 日本スポーツデンティスト協議会の活動について
- (8) 学校保健委員会について
- (9) スポーツ・マウスガードの普及活動について
- (10) 学校歯科医生涯研修制度更新研修会の内容について
- (11) 歯と口の外傷時対応パンフレットについて
- (12) 栄養教諭の状況について
- (13) 就学時の健康診断マニュアル改定に伴う対応について
- (14) 日学歯生涯研修制度「更新研修会」の開催について
- (15) 保育園における歯科医師の報酬について
- (16) 学校歯科保健優良校表彰の表彰規則について
- (17) 学校歯科健康診断システムの導入について

和歌山県歯科医師会
和歌山県歯科医師会
大阪府学校歯科医会
大阪府学校歯科医会
大阪市学校歯科医会
福井県歯科医師会
福井県歯科医師会
奈良県歯科医師会
奈良県歯科医師会
兵庫県歯科医師会
富山県歯科医師会
滋賀県歯科医師会
京都府歯科医師会
京都府歯科医師会
京都府歯科医師会
京都府歯科医師会
石川県歯科医師会

9. そ の 他

10. 次期当番県挨拶

和歌山県歯科医師会 副会長 井内 洋

11. 閉 会 の 辞

【懇親会】

近畿北陸地区の歯科医師会役員連絡協議会との合同懇親会は、協議会終了後の午後4時30分から開催され、太田謙司会長をはじめとする近畿北陸地区の歯科医師会会長の先生方と親交を持つことができました。また、協議会で情報交換をおこなった学校歯科関係者とも交流を深めて6時過ぎに全日程が終了しました。



◆ 学校歯科医生涯研修制度 更新研修会 ◆



日本学校歯科医会の主催する生涯研修制度は平成21年度から基礎研修会が始まりましたが、その修了証の有効期限が10年間で平成31年度までであることから、それに備えて更新研修会を開催いたしました。

大阪市学校歯科医会の486名の会員のうち477名が基礎研修会の修了者ですので、その先生方を対象にして9月と12月の2回の更新研修会を開催することにして、第1回更新研修会を9月20日（木）に第2回更新研修会は12月1日（土）に大阪府歯科医師会館の大ホールで開催いたしました。2回の更新研修会で431名が日学歯の生涯研修制度の基礎研修会の資格を更新することができました。

記

趣	旨	基礎研修会の修了者が、学校歯科保健に関する新たな事柄もしくは各種法令などに基づく変更点について、知見を取得することを目的とする。
目	的	学習指導要領が10年振りに改訂されて来年度から施行されるのに備えて、学校歯科医会も対応するために開催する。
主	催	日本学校歯科医会 大阪市学校歯科医会
日	時	第1回 平成30年9月20日（木）午後2時～4時 第2回 平成30年12月1日（土）午後3時～5時
場	所	大阪府歯科医師会館 大ホール
受	講	者 平成21年～30年「基礎研修」を修了した市学歯会員
研	修	内 容

① 教育関連法規の理解と改訂ポイント

林 昭典 常務理事

学校教育法、学習指導要領、学校保健安全法、食育基本法、スポーツ基本法などを解説しました。また、平成30年に改訂されました学習指導要領で提唱されていますアクティブラーニングの学習形態の要点を解説しました。

② 学校健康診断の改訂点の概要

川上 力 常務理事

学校歯科検診の原点であるスクリーニングについて詳細に説明し、平成28年に改訂されました診断基準の変更点について解説しました。また、大阪市の学校歯科保健における最近の状況を具体例を交えて報告しました。

③ 選択テーマの講演

西本 達哉 専務理事

「歯・口の安全」では学校における事故発生の状況やマウスガードの普及について説明し、「消毒・滅菌」については滅菌と消毒の種類や作用機序を解説し、学校歯科医の健康診断時の留意点を述べました。

配布資料

- 1 日学歯からの「更新研修」のスライド集
 - ・日本学校歯科医会 更新研修【Version 1】教育関連法規の理解とポイント
 - ・学校健康診断の改訂点と概要（平成28年4月実施）
 - ・滅菌と消毒
- 2 大阪市良い歯の学校・幼稚園表彰の調査用紙
- 3 平成30年度DMFT指数調査票
- 4 大ホール支部別座席表

会場展示物

- ・学校歯科教材器具（かみかみセンサー 咬合力計 糖度計 pH測定器 歯みがき圧測定器 口唇圧測定器 見る菌）
- ・全日本優良校表彰校の大阪市からの推薦校の保健指導内容アルバム

研修会の感想

- ・学校歯科医とは…ということを再認識させていただきました。講師の先生方ありがとうございました。
- ・学校歯科医のあるべき姿が変わっていないことを認識いたしました。良かったです。ありがとうございました。
- ・講師のスライドが大変ユニークでおもしろく、これからもご活躍のほどをお祈り申し上げます。
- ・矯正のスクリーニングについてよく分かりました。CO・GOの大阪市の検出率についても承知しました。貴重な研修会だったと思います。ありがとうございました。



■ 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール ■

平成30年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」審査会を下記の日程で行いました。

日時：平成30年9月13日（木）午後2時

場所：大阪市役所 地下1階 第6会議室

出席者：一般社団法人 大阪市学校歯科医会

大阪市教育委員会事務局 指導部 初等教育担当 教育活動支援担当生活指導
教育活動支援担当学校保健グループ

● 図画・ポスター

応募枚数372枚（幼稚園5枚、小学校307枚、中学校48枚、高等学校12枚）より入賞作品39枚（幼稚園1枚、小学校26枚、中学校10枚、高等学校2枚）を選出しました。入賞作品のうち、小学校低学年、高学年、中学校から最も優れた作品3点を選出し、日本学校歯科医会主催の中央審査会に大阪市の代表として選出しました。次に優れた作品5点を大阪市学校歯科医会会長賞とし、応募者全員に参加賞を贈呈しました。

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

小学校（低学年の部）代表
玉川小学校 3年生 今泉 皓太さん
小学校（高学年の部）代表
聖賢小学校 6年生 曾我 綸さん
中学校代表
旭陽中学校 3年生 佐藤 沙椰海さん

〔大阪市学校歯科医会会長賞〕

幼稚園代表
菅南幼稚園 5歳児 山口 いつきさん
小学校（低学年の部）代表
開平小学校 2年生 竜江 杏奈さん
小学校（高学年の部）代表
塩草立葉小学校 4年生 滝口 夢さん
中学校代表
城東中学校 3年生 高岡 花妃さん

高等学校代表

第二工芸高等学校 3年生 黒木 小都乃さん

● 標語

応募総数は104点（小学校54点、中学校50点）のうち、次の1点を日本学校歯科医会への推薦作品としました。

「白い歯で 私の将来 ピッカピカ」

新北野中学校 2年生 石塔 春香さん

次に優れた作品2点を大阪市入賞作品として選出しました。

「きれいな歯 未来の自分に プレゼント」

市岡東中学校 2年生 内山 桃さん

「丈夫な歯 未来の健康 作りだす」

友渕中学校 1年生 出口 安珠さん

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪市学校歯科医会ホームページで紹介するとともに、入賞作品を含めて下記の通り展示しました。

展示期間：平成30年11月16日（金）

～12月5日（水）

展示場所：大阪市立中央図書館

エントランスギャラリー

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕



玉川小学校 今泉 皓太



聖賢小学校 曾我 繪



旭陽中学校 佐藤 沙椰海

〔日本学校歯科医会への推薦作品（標語）〕

白い歯で 私の将来 ピッカピカ

新北野中学校 石塚 春香

〔大阪市学校歯科医会 会長賞〕



菅南幼稚園 山口 いつき



開平小学校 竜江 杏奈



城東中学校 高岡 花妃



塩草立葉小学校 滝口 夢



第二工芸高等学校 黒木 小都乃

第82回 全国学校歯科保健研究大会

主催 文部科学省・日本学校歯科医会・日本学校保健会・沖縄県歯科医師会・沖縄県教育委員会・宜野湾市教育委員会

期 日 平成30年12月5日（木）・6日（金）

場 所 沖縄コンベンションセンター

主 題 「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して
～学校歯科保健活動のもつ教育力を考える～



参加者 西川 肇 副会長 井手 成信 副会長
長崎 三男 副会長

日 程（1日目）

開会式・表彰式 13：00～14：00

ポスター発表 13：00～18：00

基調講演 14：15～15：35

演 題 児童生徒が身につける長寿の秘訣

講 師 首都大学東京 名誉教授 星 旦 二 氏

シンポジウム 15：50～18：00 「学校歯科保健活動のもつ教育力を考える」

座 長 明海大学 学 長 安 井 利 一

シンポジスト 佐世保市立小学校 教 諭 福 田 泰 三

シンポジスト K A Z Uデンタルクリニック 院 長 平 良 和 枝

シンポジスト 沖縄県教育庁保健体育課 健康体育班 班 長 上 地 勇 人

懇 親 会 19：00～ 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 6F ニライカナイ

日 程（2日目）

I、領域別研究協議会

1. 保育所・幼稚園部会

座 長 神奈川歯科大学口腔統合医療学講座 教 授 木 本 茂 成

研 究 発 表 社会福祉法人もとやま福祉会 うむさ保育園

滋賀県立短期大学付属幼稚園

2. 小学校部会

座 長 日本大学歯学部衛生学講座 教 授 川 戸 貴 行

研 究 発 表 沖縄県那覇市立天妃小学校

熊本県天草市立河浦小学校

3. 中学校部会

座 長 東京医科歯科大学 名誉教授 和 泉 雄 一

研 究 発 表 沖縄県那覇市立上山中学校

埼玉県羽生市立東中学校

4. 高等学校部会

座 長 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野

研 究 発 表 准教授 相 田 潤

沖縄県立首里高等学校

大阪府立門真西高等学校

II、ポスター発表 表彰式

III、閉会式

第82回 全国学校歯科保健研究大会に参加して

副会長 長崎 三男

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1000</p>	<p>13時より開会式・表彰式が行われた。文科省からは柴山大臣の代理として福井利恵企画官が出席された。表彰式では全日本学校歯科保健優良表彰として大阪市立玉出幼稚園が文部科学大臣賞を受賞し、岩瀬直美園長や大阪市教委の方々と共に受賞の喜びを分かち合った。並行して18時までポスター発表も行われ27題のポスターが掲示された。今年は初めての試みとして、大会関係者・出席者の投票により優秀ポスターの表彰が2日目に行われた。</p> <p>14時15分から「児童生徒が身につける長寿の秘訣」と題して、首都大学東京名誉教授、星旦二先生による基調講演が行われた。口腔ケアと食生活・4年後QOLとの因果構造や7年後の生存を規定する各要因の因果構造についてエビデンスを示し「かかりつけ歯科医」のいる人が長寿であることを明確にされた。一方で、全世界で生産される降圧剤の約50%が、高脂血症治療薬の約70%が日本で消費されていることを示して「かかりつけ内科医」を持つことのリスクを語っておられたことはアイロニーに富み、日本の医療システムへの警句として受け止めるべきであると考えた。</p> <p>15時50分からは「学校歯科保健活動のもつ教育力を考える」というテーマのもと、明海大学安井利一学長を座長としてシンポジウムが行われた。3名のシンポジストが小学校教諭、学校歯科医、行政という立場からそれぞれ実践発表を行った。健康の増進には、ホームケア、プロフェッショナルケア、ヘルスアドミニストレーション3者のアプローチが大切であり、それぞれのもつ教育力が子供たちの将来への鍵を握っていることが示された。</p> <p>19時からは会場を沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハに移し、懇親会が開かれた。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1000</p>	<p>領域別研究協議会では小学校部会に参加した。日本大学川戸貴行教授を座長、九州大学山下喜久教授をアドバイザーとして開会した。川戸教授はむし歯・歯周病を慢性に経過する生活習慣病としてとらえ、歯の喪失を防ぐためには正しい知識に基づく適切なセルフケアと歯科医院での定期管理の組み合わせが重要であることを述べられた。</p> <p>小学校での歯科保健教育は、人々の健康のさらなる増進に向けた強い推進力の源となりうることを示し、むし歯ゼロと歯周病ゼロが目指すべき目標であるとされた。2018年7月の口腔衛生学会において提示された「健康な歯とともに健やかに生きる～生涯28（ニイハチ）を達成できる社会の実現を目指す～」という学会声明を紹介し、そのスタートラインとしての健康教育の大切さを改めて強調した。</p> <p>協議会では、学校歯科医、養護教諭、教諭の3者から研究発表が行われた。那覇市立天妃小学校ではフッ化物洗口により沖縄県のDMFT歯数改善に向けて力強い取り組みが行われている。天草市立河浦小学校では一週間に2回の染め出しを行い、子供たちの気づきを通じて健康づくりに取り組んでいる様子に頭の下がる思いがした。最後に山下教授は「継続性」があり「導入可能」な手法を駆使することにより「生き抜く力」の獲得が実現し、生涯28へとつながってゆくことに期待を述べられた。</p> <p>11時50分からはポスター発表表彰式が行われた。27のポスター演題の中から、大会会長表彰、沖縄県歯科医師会会長表彰、審査員特別賞が授与された。大会宣言の後、閉会式となり、次期開催地の山口県歯科医師会から挨拶があり、閉会となった。</p>

感想

開会式：文部科学大臣の代理として福井企画官が出席された。企画官とは課長と課長補佐の間に位置するポジションとのことであるが、全国大会での来賓としてはいかにも心もとなく感じたのは私だけであろうか。

ポスター発表：内容は毎年レベルが高くなってきているように思う。歯科医師会の学術部や学校保健部のポスターに興味深いものが多かった。表彰対象を選ぶ方法は一考を要すると思われる。人気投票にならないようにすべきであろう。

基調講演：星教授の講演は一般市民にも公開されていて親しみやすい内容で教授のフレンドリーな口調も相まって笑顔の絶えないものであった。医師である星教授が「かかりつけ歯科医」の有用性を説く一方で「かかりつけ内科医」の在り方について疑問を呈されたことは今後の医療界の在り方に一石を投じたものである。

領域別研究協議会：「継続性」があり「導入可能」な手法を用いて学校保健教育を行うということは、ありふれたどこでもやっているような手段を用いることとなる。しかしそれを継続して行うとなると容易ではない。天妃小学校ではフッ化物洗口であり河浦小学校では染め出しによるブラッシングがそれであった。学校歯科医や教諭先生方のご努力には頭の下がる思いである。いかに継続してゆくかが改めて問われている。口腔衛生学会声明の「生涯28」は8020へのアンチテーゼでもある。むし歯ゼロ・歯周病ゼロの実現の先にあるものが「生涯28」であり、決して「8020」ではないのである。学校保健教育のもつ潜在力を改めて認識した。

尚、シンポジウム、協議会共に発表者の口調は明瞭で、読み間違いもなく、相当長時間にわたるナレーションの練習を繰り返したであろうことが推察された。改めて、演者の皆様方へ感謝申し上げる次第である。



平成30年度 全国学校保健・安全研究大会

- 主 題** 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～自ら健康で安全な活力ある生活を送ることができる子どもの育成～
- 主 催** 文部科学省 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 公益財団法人日本学校保健会
鹿児島県学校保健会
- 期 日** 平成30年10月25日（木）・26日（金）
- 開催地** 鹿児島県鹿児島市
- 会 場** （1日目） 鹿児島市民文化ホール
（2日目） 鹿児島サンロイヤルホテル、ホテルウェルビューかごしま
ベストウェスタンレンブラントホテル鹿児島リゾート
- 参加者** 岡本卓士会長 西本達哉専務理事 吉松昌之理事
- 内 容** （1）全体会（開会式・表彰式・記念講演）
- ・開会式
 - ・表彰式
学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。
大阪市学校保健会からは岸里小学校の木戸安子校長が受賞されました。
 - ・記念講演
講演内容 『発育期におけるスポーツの意義と課題』
講 師 日本臨床スポーツ医学会 理事長 川原 貴 先生
- （2）課題別研究協議会
- 10課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。
- | | | | |
|-------|---------------------|------|----------|
| 第1課題 | 学校経営と保健組織活動 | 第2課題 | 保健管理 |
| 第3課題 | 心の健康 | 第4課題 | 現代的健康課題 |
| 第5課題 | 歯・口の健康づくり | 第6課題 | 学校環境衛生 |
| 第7課題 | 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育 | 第8課題 | 学校事故防止対策 |
| 第9課題 | 教科等における安全教育 | | |
| 第10課題 | 関係機関等との連携による安全の体制整備 | | |



平成30年度 全国学校保健・安全研究大会に参加して

理事 吉松 昌之

全国学校保健・安全研究大会2日目

午前 第5課題 歯・口の健康づくりに参加しました。

日時 10月26日 午前の部 9:30～12:00

第5課題「歯・口の健康づくり」研究発表者

- 主題 生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方
- 講師 福岡県教育庁教育振興部副理事兼体育スポーツ健康課長 寺崎雅巳
- 指導助言者(コーディネーター) 愛知県立瀬戸高等学校 教頭 丸山洋生
鹿児島県立鹿児島養護学校 教諭 外園 耕司
福岡県桂川町立桂川東小学校 養護教諭 穴井 由貴
埼玉県羽生市立東中学校 養護教諭 皆川 麻子
教諭 渡邊 マユコ

非常に興味深い研究発表が養護教諭の先生方から行われました。

鹿児島県立鹿児島養護学校では鶴丸賞というのを作り、春夏年2回、検診結果が優秀な生徒を表彰しています。なるべく多くの生徒が受賞できるようにし、職員、保護者も含め、口腔衛生に対する意識を高め、興味を持続してもらうことができています。

福岡県の桂川東小学校ではむし歯を減らすため1年生から4年生は(ぶくぶくタイム)口の中をきれいにする口腔周囲筋のトレーニング、5,6年生は(シャカシャカタイム)口の中をきれいにする正しい歯みがきの仕方を習得し、全校児童には(かみかみタイム)正しい姿勢でよくかんで食べる習慣を身につけるための指導を行なっています。かみかみセンサーをつけて給食を食べ、よくかむことを意識させるのには驚きました。さらに鍼灸師を招いてインナーマッスルトレーニングをし、姿勢指導も行っています。姿勢指導については顎位や口呼吸、エアウェイ等口腔に関する課題もあるので大切な活動だと思いました。

埼玉県羽生市立東中学校では独自の「のぼるくん」というキャラクターを作り、ステッカー等を表彰などに活用していました。歯科衛生士が指導、講話に積極的に参加している様子が発表されました。キャラクターを使うというのは面白いと思いました。また、週1回のフッ化物洗口が実施されていますが、前日に学校保健委員が保健室で準備を行い、当日に各教室へ持って行き、終了後に保健室に戻して後片づけも行なっていることに感心しました。

午後 第8課題 学校事故防止対策に参加しました。

日本スポーツ振興センター米山尚子課長よりHPの活用法、資料閲覧、センターからの発行物の説明がありました。スポーツマウスガードが外傷予防に有効で、高校野球におけるこれからの試みを発表されました。「マウスガードの有効性についてデータが出ているのか」と質問しましたが、「それは出ていない」との答えでした。

長野県教育委員会では頭頸部の外傷発生時の対応フローチャートのポスターを大きく作り、



体育館の入り口に掲示するという発表がありました。起こってしまうと死亡、重度障害事故になりやすいのでその時の対応として専門家以外でもわかりやすくしてほしいと思いました。

第68回 全国学校歯科医協議会

- 主催 公益社団法人 鹿児島県歯科医師会
後援 鹿児島県教育委員会・鹿児島県学校保健会・鹿児島市教育委員会
期日 平成30年10月25日（木）16時00分～20時30分
会場 SHIROYAMA HOTEL Kagoshima（旧城山観光ホテル）
日程 15時30分～ 受付
16時～ 開会式 大臣表彰者紹介 協議会
16時30分～ 講演
18時～ 移動休憩
18時30分～ 懇親会
講演 演題 『こんなところにも目を向けよう！スクリーニングとして重要な学校歯科健康診断』
講師 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 教授 山崎 要一先生

第68回 全国学校歯科医協議会に参加して

理事 吉松 昌之

開会式の後、大臣表彰者紹介が盛大に行われ、日学歯からは玉出幼稚園の実地審査にも来ていただいた柘植・平塚両副会長が受賞されました。受賞者を代表して柘植副会長が謝辞をのべられましたが、その話の中で「これまでに色々な皮肉を言われて悔しい思いをした事を振り返り、現在に活かしている」ことを知りました。その後、協議会、講演会が行われました。



講演会は鹿児島大学教授山崎要一先生を講師にして行われました。大学小児歯科の症例をたくさん見せていただきました。特に年齢に見合った歯の交換があることを検診で診るのは、永久歯の先天性欠如の発見になることを知りました。7大学の調査によると10%の子どもに永久歯の欠如がみられたとのことでした。中心結節の破折、乳歯の外傷の後継永久歯への影響、口腔習癖の歯列・咬合への影響、歯髄処置をした乳歯の交換状況、呼吸器障害の影響などの数多くの写真、レントゲン等資料が多く、保険の重要性や、扁桃肥大が疑われる小児の症例等、詳しく分かりやすく学ばせていただきました。

社会見学会 京セラドームにて野球観戦



日 時 平成30年9月1日(土)
試合開始 午後2時 (集合は1時以降)

今回の社会見学会は、初の試みとしてプロ野球の観戦を楽しみました。京セラドーム大阪にてパリーグの公式戦をご覧いただきました。当日はライトスタンドにある「スターダイナー」にて食べ飲み放題のプランを味わっていただきました。試合は首位を独走する埼玉西武ライオンズと地元大阪のオリックスバファローズ戦でした。試合内容は、最大7点差あったゲームでしたが、徐々にオリックスが点差を縮め1点差で迎えた9回の裏、中島裕之(来シーズンは巨人に移籍)の逆転サヨナラ3ランで勝敗が決まりました。オリックスファンにはたまらない試合内容でした。以下に当日の観戦風景を載せました。来年も会員多数の参加をお願いします。



社会見学会に参加して

吉村 信一

(阿倍野区支部)

「今年度の社会見学会は、京セラドーム大阪でのオリックス対西武戦です」6月の阿倍野支部の総会において岡本会長のおっしゃったこの一言を聞いた瞬間から、私の気持ちは野球観戦モードになっていました。というのは、日生球場や藤井寺球場があったころからバッファローズを応援しており、今でも息子を連れて年に何回かは観戦していますし、昨年一昨年と福岡のヤフオクドームでも研修会の懇親会がらみではありますが、オリックスの試合で応援するほどの大ファンなのです。これまではすべてスタンドからの応援だったので、ライト側スタンド下にある「スターダイナー」で食事をしながらの観戦は初めて。否が応でも期待は高まります。あとはいかに普段は診療している土曜午後の予約を切るかという策略だけです。そこで一緒に歯科衛生士として働いている家内に「なあ、9月の第1土曜日なんやけど、学校歯科医会の研修会あるから行ってきてよろしいですか？」とお伺いを立てて（あくまで下手に）なんとか許可が下りたのでした。（後日バレて怒られました）

さて試合、いや社会見学会前日となりましたが、ここで一抹の不安が脳裏をよぎりました。「そういえばここ6試合ほどは観戦した試合全然勝ってないなあ…。でも明日こそは勝つぞ！」と気合を入れて帽子、ユニフォーム、タオル、鳴り物、風船などの応援グッズを詰め込み、気分は遠足前の小学生といったところでしょうか。

いよいよ待ちに待った当日になり、午前中で診療を切り上げ、イソイソと通いなれ

た京セラドームへの道を急ぎます。レストランにはすでに多くの先生方が来られており、同級生の姿を見かけすぐ後ろの席に陣取り、まずは腹ごしらえ。向かいの先生たちと話をすると、ほとんどの方が「甲子園には行くけどなあ」とのことでした。そのうち同じ支部の先生や他の同級生とも顔を合わせ、挨拶をし、いよいよオリックスはローチ、西武は十亀の先発で試合開始となりました。目の前にはライトの守備につく自分の着ているユニフォームと同じ背番号34の吉田正尚の姿が！多分一人だけ大興奮の中、試合はオリックスが幸先よく1点先制。この調子で行け！と思っていたのもつかの間、3回に一挙5点、4回にも3点をとられて形勢逆転。序盤で7点差をつけられる重苦しい雰囲気になってしまいました。「西武は首位だしかもうあかん。これで自分が来た試合は7連敗や。やっぱり俺は負け男なんや。来るんじゃないや。とりあえずやけ酒だけ飲んで帰ろう」いろいろな思いが頭の中をぐるぐる駆け回ります。ところがこの日のオリックスはいつもと違いました。5回、7回、8回とロメロ2本、T-岡田1本のホームランで2点差にまで迫り、俄然期待は高まります。いよいよ9回裏の攻撃になり、ここでロメロ、吉田の連続安打でランナーがたまり、とうとう中島の3ランホームランで大逆転サヨナラ勝ち！年に1回あるかないかの試合展開に、普段パリーグの試合を観戦することのない皆様も大興奮、大満足のうちに帰路につかれたことと思います。（西武ファンの先生がおられたらごめんなさい）いざ勝利

の美酒を！と思ったのですが、残念ながらアルコールの提供は7回終了時で終わっており、今後もし同じような企画を組んでいただけるのなら、しっかり終了間際にアルコールをキープしておこうと反省？しました。いずれにせよ今回の社会見学会は忘れられないものになりましたし、学校歯科医会の役員の方先生方ならびに関係者各位には大変お世話になり感謝申し上げます。

ここでやはり社会見学会ですので、私たちの活動に役立てることはないかと感じたことを書かせていただきます。やはり保健活動というのは元々知識があまりなかったり意識の低い人に行くものです。ですから最後まであきらめず、粘り強く指導すればおのずと道は開けてくるのではないのでしょうか。最後に一言。もうちょっと勝つてくれよオリックスバッファローズ！

下地 常登
(城東区支部)

9月1日の土曜日に京セラドーム大阪で開催されました社会見学会に参加させていただきました。私はオリックスファンで年数試合の応援に行きますが「スターダイナー」は初めて行きました。前々から興味がありました。人気がありますので、中々チケットが取れない様子で当日は非常に楽しみでした。社会見学会には私が大阪市学校歯科医会に入会させていただいてから初めて参加しますので若干不安だったのですが、役員の方先生方が皆さんとても優しく接していただき、最初の不安も吹きとび楽しく入店することができました。「スターダイナー」は2Fにあり中のレストランでビュッフェ形式で食事をとって、バルコニー部分で試合を観戦できます。バルコニー部分は腰掛けもあり食事はダメですが、飲み物は大丈夫ですのでビールを片手に応援できます。普通こういったビュッフェはあまり美味しくないのが定番なのですが、中々どうして結構美味しかったので驚きました。バルコニー部分も外野ではありますが2Fですので、外野手との距離も近く大ファンの吉田正尚選手を間近で見ることができました。テーブルで城東支部の方先生方と食事を取りながら歓談し試合観戦の

ためにビール片手にバルコニーへ移動。自由に場所を変えられるので本当に楽しめます。さて肝心の試合ですが先発のローチ投手が首位西武の強力打線につかまり8失点。このままズルズルいくかと思いきやロメロ選手の2打席連続ホームラン、T-岡田選手の久々のホームランでじわじわ追いつき9回裏、中島裕之選手の劇的な逆転3ランホームランでサヨナラ勝ち。会員の先生方と大盛り上がりしました。この試合のMVPはもちろん中島選手ですが、中盤以降無失点で押えた比嘉、岸田投手も本当に素晴らしかったです。最後になりましたがとても楽しい社会見学会を企画して下さい大阪学校歯科医会のご担当の方先生方皆様、本当にありがとうございました。



平成30年度 学校歯科保健連絡協議会

日時 平成30年10月11日(木) 午後3時～5時
場所 ホテルアウイーナ大阪 4階 金剛(東)
出席者 校 園 長 部 会 保 健 主 事 部 会
養 護 教 員 部 会 大 阪 府 歯 科 衛 生 士 会
大 阪 市 教 育 委 員 会 こ ど も 青 少 年 局
サ ン ス タ ー 株 式 会 社 ラ イ オ ン 歯 科 衛 生 研 究 所
大 阪 市 学 校 歯 科 医 会



日 程

開会挨拶 副会長 西 川 肇
会長挨拶 会 長 岡 本 卓 士

司 会 常 務 理 事 川 上 力



大阪市教育委員会挨拶

課長代理 松 田 大 様

第57回全日本優良校表彰で玉出幼稚園が文部科学大臣表彰、新北野中学校が日本歯科医師会会長表彰、海老江西小学校と東高等学校が奨励賞を受けたことは、大阪市から複数の学校園が表彰されたことは大きな喜びである。これは各学校園の皆さんのご尽力と大阪市全体で取り組んでいる成果の賜物であると思う。「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」は天王寺区にご協力を賜っているが、これには大阪ビジネスフロンティア高等学校が主幹校となり、校種間の連携に取り組んでいただいております、来年の大阪市学校歯科保健研究大会で発表される。推進事業の行政区での取り組みはなかなか無いと聞いており、全国的にも期待されている。より一層学校歯科保健に取り組んでいきたいと思うのでよろしくお願いしたい。



出席者自己紹介 協議内容

1. 大阪市学校歯科医会講演『歯並びと食育 ～不正咬合は予防できるか?』
【講師】大阪市立金塚小学校 学校歯科医 木下 三樹夫先生
※ 講演内容は59回大阪市学校保健大会の冊子に掲載しています。



2. 歯科保健事業について

(1) 幼稚園「歯みがき指導」と「保護者教室」について

大阪市子ども青少年局 担当係長 浅野 こずえ 様

6月から9月に27園で大阪府歯科衛生士会の協力で実施。園児は1,810名、保護者は560名、合計2,370名が参加した。園児への指導は紙芝居などの媒体を使った指導と歯ブラシの使い方の指導を30分、保護者への歯と口の衛生講話や質疑応答が1時間、計1時間半の指導となった。



養護教員部会 旭東幼稚園 養護教諭 中原 由紀子先生

養護教諭の指導は歯のみがき方や歯ブラシの持ち方の指導から始まり、指導後は担任が毎日丁寧にみがくことを就学に向けてやっている。園医の講話、親子歯みがき指導では染め出しを見てもらったりしている。歯ブラシを贈呈していただいたり、年2回検診を行っている園もある。



大阪府歯科衛生士会 幼稚園チーフ 家田 優子 様

今年度は、地震の影響により、延期になった園もあったが、9月11日に最終の園の実施を行うことができ、無事27園を終了することができた。幼児期に望ましい基本的な生活習慣を身につけることや育成をめざし行っている。口を閉じてよく咬んで食べること、正しい食事のとり方、おやつを食べ方、などを指導している。保護者の方は非常に熱心な方が多く、園医と共に仕上げみがきや永久歯の大切さなどを説明している。



(2) 小学校での保健指導について

- 小学校2年生「低学年歯みがき指導」
- 小学校4年生「フッ化物塗布と歯みがき指導」
- 小学校6年生「歯と口の健康教室」

大阪市教育委員会 担当係長 平中 早苗 様

玉出幼稚園が一番良い賞を受賞した事が大変嬉しい。実地審査で園長先生が言われた言葉が印象的だった。『大人の便利は子どもの不便。』幼稚園から小学校、中学校、高等学校とますます良い歯になることを祈っている。小学校では、2年・4年・6年と発達段階に応じた、きめ細やかな指導を行っている。2年生は100%を達成し、希望しない学校は4年生9校、6年生3校と残り僅かである。市学歯、歯科衛生士会、ライオン、サンスターの協力のもと、より良い指導をめざし、養護教諭や担任と共に学校や家庭での継続に繋がるよう努めている。また、準備や他の事業との調整等養護教諭の配慮も大きく、感謝している。2年生は、問題発見・問題解決型の指導で2回染色し、1回目の染色では歯面の半分以上歯垢が付着している児童が約6割弱。歯垢のないツルツルの歯を体験し、歯みがきに対する意欲や達成感を得ているが、2回目でも染まる子は歯列・咬合や生活習慣の見直し等支援が必要である。なぜ、みがいていてもむし歯になるのかなどを考えさせ、行動変容を期待している。4年生は歯ッピーカードを使用し、歯を強くする(フッ化物)・歯みがき・おやつを取り方・良く噛んで食べることを学ぶ。6年生は、生活習慣病としての歯周病に重点をおき、歯肉の観察や歯周病の原因である歯垢の発見、自分の生活習慣を振り返り、「歯・口の健康」が全身の健康に繋がることを理解させる内容で、Aコース(知識理解型)、Bコース(体験学習型)、Cコース(総合的な学習)とあるがCコースは無く、年々Bコースが増えている。どの学年もお口ポカンで口唇の筋力の弱い児童が目立つ。口呼吸でCOやGOになっていることも多く姿勢も悪い。口腔機能向上のために「ぶくぶくうがい」や「あいうべ体操」も取り入れて欲しい。食育では、姿勢も含めどのように食べるかも大切である。



校園長部会 岸里小学校 校長 木戸 安子先生

幼小中高の歯科保健では市学歯、市教委には大変お世話になっており、ライオン、サンスターには歯ブラシや歯みがき剤での指導を受けて感謝している。私が養護教諭の頃、今は亡き内海先生が来られていた頃を昨日のここのように思い出す。駆け出しの時、校長の薦めで一番最初に書いた論文が歯についてだった。歯の事は数値で見ることができ、昨日より今日、今日より明日とステップアップが励みとなる。また学校に戻って子どもたちに働きかけたい。今日はコメントというより、御礼を申し上げたい。



校園長部会 日吉小学校 校長 水野 和幸先生

本校でも2、4、6年の保健指導を行っている。100%の実施率という話があったが、歴史の中で積み上げられたものと思われる。私が保健主事だった頃に、事業を市教委に一括していただき、グローバルに進めていただいた結果である。歯科衛生士にも来ていただき、打ち合わせも充分でないのに、即指導を開始し、フォローもしっかり丁寧な指導をしていただいている。児童だけでなく家庭に持ち帰り、保護者にも啓発し、教員も参加することで保健指導とはこういうものなのかと実感している。



保健主事会 会長 伝法小学校 村井 啓作先生

正しい姿勢という話があったが、本校でも体幹を鍛えることで学力向上を目指す取り組みをしている。大阪市でも学力の課題があるが、保健教育が活力となり、絡みながら学力の向上をめざしたい。



養護教員会 会長 長吉小学校 養護教諭 橋本 宏美先生

偶数学年で発達段階に応じた保健指導を行っている。2年生では歯垢チェックカードの裏を利用して歯みがきカレンダーを作成、親子のコメントも書いてもらい、保健だよりに活用している。4年生では歯ッピーカードのコメントに歯みがきはむし歯予防だけでなく、インフルエンザの予防にも役立つと書いてくださっているので、1月の流行期に保健指導で全児童に指導している。6年生の指導は1学期にあり、その1週間後に歯科検診があり、成果が出ていることを実感している。歯垢の付着は学年が高くなるにつれ多くなるが、6年生は指導の後なのでとても綺麗である。保健指導の内容は子ども



たちに伝えて、意欲を高めるようにしたい。経過観察の歯科検診も行っており、その際には学校歯科医から個別指導もしてもらっている。今後も継続していきたい。

大阪府歯科衛生士会 小学校2年生チーフ 稲本 菜穂子 様

8月末から3月上旬まで指導期間となっている。今年はインフルエンザが流行して、学級閉鎖の学校もでており、自分たちの健康管理にも気を付けたい。歯ブラシの持ち方、動かし方を指導し、1本1本丁寧にみがくことを伝えている。つるつるになって気持ちが良いという達成感を味わってもらうようにしている。集中が難しい児童、支援が必要な児童もいるが、養護教諭や担任の先生の協力を得て行っている。



大阪府歯科衛生士会 小学校6年生チーフ 太田 薫 様

11名の歯科衛生士で、140校、12,278名の6年生に対して保健指導を行った。今年は北部地震、西日本豪雨などあり、全て延期となったが無事終了した。今後は自然災害に対しても上手に対応していきたい。



大阪府歯科衛生士会 会長 橋場 佳子 様

今回初めて参加させて頂いたが、皆さまが歯科衛生士に学校現場で色々と指導して下さっていることが分かった。大都市大阪の教育の現場で、貧困などとは関係なく公平にこのような保健教育を受けられることは素晴らしく、それに関わる人たちの情熱を感じる。ただ漫然としているのではなく、これから必要となる新しいことも取り入れて、DMFT指数の低下など効果が出ている。私は大阪市の高齢者の事業に関わっているが、自分の歯を残して美味しく食べることや歯周病に罹って歯を失わないように伝えても、高齢では遅い。子どもの時から教育をすることに意義があると思う。歯と口の健康は全身の健康にも繋がるので、ぜひ継続していただきたい。



ライオン歯科衛生研究所 保健研究部 課長 田中 良子 様

ライオンは保健指導のうち、6年生の歯・口の健康教室に微力ながら携わっている。終了後は反省会を開いて、次年度に活かしている。平成14年に始まり、今年は16年目になるが、始めた頃は先生も準備が分からず、10分経過してスタートしたり、担任も何をして良いのか分からず、机に座ってテストの採点をしていたこともあったが、今は違う。我々と一緒にやってくれる。チャイムとともに始めることができるようになっている。市の事業として定着したのだと実感している。前身は水野校長の話にもあった、保健主事会がやっていた昭和35年からの「歯みがき訓練」である。私が入社した頃もこの訓練に携わっていたがローリング法など歴史の変遷が伺える。大阪市の2年、4年、6年の発育段階に応じた保健指導は政令指定都市では類をみない素晴らしいものである。何より組織だって実施され、児童は公平に受けることができる。養護の先生からは2・4・6年は指導があるが、1・3・5年はどうしようという話も出る。ぜひ5年生対象の全国小学生歯みがき大会に参加して欲しい。ライオンのWEBサイトで歯みがきツールがあり、保護者、先生、子ども向けの3つのサイトがある。歯肉の話は、6年に1回では定着しないので、会員登録も不要なのでぜひ活用して欲しい。



(3)「中学校 歯・口の健康づくり」実施状況

大阪市学校歯科医会 上田 裕彦 理事

以前は歯・口の健康教室の名称で派遣された歯科衛生士が行っていたが、その派遣が中止となり、平成24年からは名称も変えて学校独自の方式で行っている。市学歯の集計では回収率86.9%で、開催状況は平成28年度76校が29年度90校に増え、実施形態は集団指導が多く、学校保健委員会でも開催されている。実施対象は1年生が多く、使用した教材はDVDが多い。他に位相差顕微鏡や顎模型などを使用。午後5・6時限目の開催が多い。市教委の集計は回収率100%で、平成30年度は101校が実施予定。平成29年度の実施校は103校で、76.87%の実施率で100校を突破した。実施せずも前年の41校から27校に減った。平成24年度は73校(56%)の実施が、5年間で30校増えたことになる。回数は1回、実施月は11月、12月が多い。実施内容は歯みがき、むし歯、歯周病の他に食育・食生活、生活習慣などが多い。実施形態は学年単位での取組、学校保健委員会での取組が多く、指導者は学校歯科医、養護教諭が多い。まとめとして実施校が増えている、各校が工夫して実施されている。



校園長部会 堀江中学校 校長 山本 裕康先生

平素より学校歯科保健協議会の皆さん、特に学校歯科医会の先生方にはお世話になり、お礼を申し上げます。中学校の現場でも時代の流れと共に考え方が少しずつ変化している。人生100年時代になった。政府でも100年組織委員会ができた。その時代で大切なものは安全、安心、そして自らの健康である。自分の健康は自分で管理する。全身の健康はまず歯の健康からということで、中学校でも進めているが、頭でわかっているが習慣として身に付けないといけない。幼稚園、小学校で身に付けて、習慣として中学校でもそして大人になってもその良い習慣を引き続いて持ち続けたいものと考えている。



養護教員部会 矢田中学校 養護教諭 村上 博美先生

中学校は義務教育の最終段階で、知識と実践を身に付けたいが、分かっているが面倒くさいというのが実態である。よし！やろう！と思わせるように模索している。本校のDMFT指数は、平成12、13年くらいの状況。私は3年目であるが、1年目の検診で嘔然とした。受診率は13.4%、そこで昨年度学校の運営方針に受診率を5%アップすると明記し、ホームページにも公開した。中学生の特性を考慮し、1. 歯みがき、2. 生活の方法を2本の柱にして指導を行っている。保健委員会では、初めて図画・ポスターに応募させて頂き、標語は国語科とも相談して応募した。保健室以外でも取り組んでもらえるのはありがたい。夏休みを過ぎても受診した生徒は歯肉炎が2名、むし歯は0名だった。そこで放課後、生徒を呼んでパワーポイントを使い指導をしたところ、5枚出してきた。CO・GOの生徒は校医の先生が2学期に検診を行っている（実は明日がその検診日）。学校歯科医の力は大きい。学校保健委員会でも前向きな発言をしてきて、保護者も私の話を聞かなくても学校歯科医の話はよく聞いてくれる。やはり学校歯科医はすごいと思う。



知識と実践力を身に付けたいと思うので、今後とも連携のほどよろしくお願ひしたい。

大阪市教育委員会 指導主事 西木 澄江 様

市学歯の先生方には平素大変お世話になっている。受診勧告について夏休み明けに再度声を掛けてもらうようにしている。保健指導は集団指導も効果的であるが、中学生になると個別指導と集団指導を組み合わせることでより一層の効果が出ると思われる。丁寧に気長に行った声掛けにより小学生からあったむし歯を中学生になって治療したケースもある。



(4) 子どもの歯を守る懇談会について

大阪市学校歯科医会 西川 肇 副会長

昭和35年から始まった事業で、実施形態は学校保健委員会など様々。市学歯の理事が外向して、希望に沿った内容を学校歯科医と相談して行っている。平成27年度：6校、28年度：10校、29年度：9校、そして今年度は13校と実施校が増えた。



大阪市学校歯科医会 林 昭典 常務理事

我孫子中学校へ行った。視点を変えて口呼吸・鼻呼吸・歯の話という演題。先ほどの木下先生の講演を聞くと、このような話は中学校では既に遅いかもしれないと思った。クイズ形式で、生徒の目線に沿った講演をした。教職員が協力的でビデオを持って来てくれた先生がいて、りっふるくんのボタンを加えて、梅干し顔になった顔をアップにして撮り、生徒や教職員の表情を映し出して盛り上がった。生徒、若い先生方、養護教諭を含めて保健指導をしていこうという若いエネルギーを感じた。



大阪市学校歯科医会 柳田 和彦 理事

大正東中学校と東住吉中学校へ行った。大正東中では1年生175名、東住吉中では各クラス2名の保健委員が30名参加してくれた。いずれも内容は同じで、パワーポイントを用いてむし歯と歯周病について説明したり、基本的な口の機能に関するクイズも出したりした。終わってから養護教諭から手紙をいただき、保健委員の生徒が講演内容を知らせる壁新聞を作ったと聞き、やりがいがあり嬉しかった。



大阪市学校歯科医会 讃井 茂行 理事

昨年に引き続き築港小学校に行った。昨年は土曜授業で1時間目は全校生徒を講堂に集め、歯みがきやあいうべ体操の指導を行い、2時間目は各学年、染め出しや歯みがき



圧測定などを行った。今年は、昨年好評だったので、授業参観を利用して保護者も参加してもらい、歯の健康教室を全学年対象に行った。1年生は私がライオンのスライドも使わせていただき歯みがき指導、2年・4年・6年は大阪市の保健指導を歯科衛生士が実施、3年生は学校歯科医が唾液検査など、5年生はライオンの全国小学生歯みがき大会をそれぞれ実施した。昨年指導したあいうべ体操のお蔭でインフルエンザが少なかったと養護教諭から聞いて良かった。

(5) 「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」天王寺区 進捗状況について

大阪市学校歯科医会 西本 達哉 専務理事

校種間連携事業について、幼・小連携、小・中連携、小・高連携、中学校連携の事業について紹介。今年度は「歯・口のけがの防止」のため東京医科歯科大学スポーツ医歯学講座上野准教授による「学校園での歯・口のけが事例分析と予防10か条」の講演や昼食後の歯みがきについては、OBF高校で歯みがき強化週間を実施し、ライオンやサンスターから歯ブラシや歯みがき剤を提供して頂いた。天王寺区役所の栄養士と協同した「噛むカムレシビコンテスト」では850もの多くの応募があり、特に夕陽丘中学校では夏休みの宿題として300もの応募があり、入賞者は天王寺区「みんなの健康展」で表彰した。



養護教員部会 生野工業高等学校 養護教諭 中川 雅子先生

OBF高校の取組は勉強になり、素晴らしいと感激している。本校の特徴として予防教育に取り組めないということがあり、放置された齲歯の治療に力を入れている。また高校生ならではの問題もある。

1. 部活、塾、アルバイト、地域での活動と忙しい生活を送っている。優先順位の問題と説明しているが、時間がなくて悩んでいる生徒も多い。
2. 生徒は市内在住とは限らず、大阪市なら500円の治療費で受診できるが、それ以外は3割負担のところもある。大阪市の小・中出身者は保健指導のお蔭で歯のことについては良く分かっている生徒が多い。
3. 検診結果は保護者に伝わっておらず、また高校生にもなると親が歯科医院に連れていくことも少ないので、自己管理能力が問われる。

私から歯科医へのお願として、学校では視覚に訴えて、全体像を見たり、今どこに取り組んでいるのかを分かるように指導しているが、生徒に歯の治療について、「どこの治療しているの?」とか「あと何回で終わるの?」と聞いても生徒は答えられない。歯科医の前では緊張もして聞けないのだろう。いつ終わるのかも分からず、クリティカルパスまではいかずとも、管理計画表があるそうなので、治療の期間とか費用などをわかるように活用していただきたい。むし歯治療が必要な生徒が減ったら、子どもの歯を守る懇談会も利用したいと思う。



3. 「平成29年度学校歯科検診状況」と「市学歯活動状況」について

大阪市学校歯科医会 岡本 卓士 会長

本日参加の皆さんから大変熱心にコメントを頂き、感激している。木下先生には素晴らしいご講演をしていただき感謝している。歯ならびに舌の影響があれほどあるとは知らなかったし、骨成長についてもお父様で私の恩師でもある木下善之介教授の講義を思い出した。

会報175号には年間活動報告書から集計した、ダブルミラーの有無、照明器具、検診記録者を記載している。1日の検診人数は、300人までにして欲しいがそれ以上のところもある。1時間の検診人数はできれば60人まで、多くても100人までにして欲しいが、それ以上のところがある。資料6は先ほどの集計を支部別に出している。2月1日の朝日放送の番組で「食後すぐに歯をみがいてはいけない」という発言があったが、その件については「学校関係者から質問があっても『食後はすぐに歯をみがくべきだ』と答えてほしい」と検診前に会員に知らせた。この件は本日司会の川上先生も保健タイムスで書かれている。玉出幼稚園の实地審査では日学歯から柘植・平塚の両副会長が来られた。正式に文部科学大臣賞が決まり、12月6日の沖縄での全国学校歯科保健研究大会で表彰式がある。



4. その他

①ライオンから全国小学生歯みがき大会について

ライオン歯科衛生研究所 保健研究部 部長 関根 宏明 様

今回初めて参加させていただいたが、大阪市の熱心な取り組みとそれに多くの方が取り組んでおられることに感銘を受けた。第75回全国小学生歯みがき大会では「ふりかえ



り冊子」を作成し、学校事例や取組の感想を掲載している。大阪市立南小学校のコメントもあり、DVDを現場で工夫して取り組み、授業の中で活用していただいた。1932年に第1回がスタートし、本年度で第75回になる。昨年第74回からDVD活用となった。今年は約3800校、21万人が参加してくれた。大阪は96校と多くの学校が参加してくれて感謝している。アンケート内容を見ると、他校の紹介や学校の先生に話を聞いたという人が多いので、ぜひ伝えて欲しい。来年の第76回も6月1日から6月10日の歯・口の健康週間に実施されるが4,500校の参加を目標としているのでよろしくお願いします。

②サンスターからのお知らせ

サンスター株式会社 事業管理部 部長 村上 悟郎 様
初めて出席させて頂いたが、歯科衛生士の体制やツールの充実などを考えたい。



サンスター株式会社 歯科衛生士 大津 朱里 様
バトラーF洗口液の紹介をするが、学校でも活用して欲しい。メリットとして第一は歯ブラシの届きにくい咬合面の深い溝や歯間部にも行き届く。そして第二に歯みがき剤よりフッ化物イオンの残留量が多い事があげられる。そこで毎日少しずつでも活用して欲しい。歯科医院での販売となるが、フッ素濃度は450ppmで、週一回法と毎日法があるが、毎日法で利用して欲しい。水色の液体で原液使用し、洋梨味である。飲み込むおそれのある児童には半分に希釈して225ppmでも利用は可能。バトラーFコートは第1類医薬品となり、薬剤師の対面販売となっている。安全性については、副作用が問題で急性中毒と慢性中毒があり、洗口には一度に10mlの使用なので、全てを飲み込んでも急性中毒である嘔吐や腹痛などの症状は出ない。



③第59回大阪市学校歯科保健研究大会の予告

大阪市学校歯科医会 井手 成信 副会長
2/21(木) 第一部：表彰式、第二部：学校歯科保健研究協議会は天王寺区推進事業の研究発表があり、座長は木戸校長、指導講評は水野校長、川上常務、西木指導主事と本日お集まりの先生方ばかりで、ぜひ参加をよろしくお願いします。



④DMFT指数調査について

大阪市学校歯科医会 長崎 三男 副会長
DMFT指数は一人平均むし歯経験数と同じ意味であるが、12歳児のものは全国的な指標となっている。中学1年で大阪は平成29年度0.75で、文科省の全国平均の0.82よりも優れている。過去の資料を探したところ、平成15年発行の大阪市学校歯科医会と大阪市養護教員会の連名による昭和57年から平成13年までのDMFT指数調査では、当時の内海専務が書いたと思われる文章が見つかった。「今後のDMFT指数の減少が、管理指導下におかれたものでなく、保健教育による児童・生徒自らの管理能力の高まりによって生じるものであることを願い、確かな健康観育成のもたらす成果としてのDMFT指数であるものを望むものである。」この言葉を肝に銘じて今後も学校歯科保健に取り組んでいきたい。



⑤平成30年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクールについて

大阪市学校歯科医会 西本 達哉 専務理事
9/13(木) 審査会を実施。日学歯への応募作品3点、市学歯会長賞5点を選出。標語コンクールも最優秀作品と入選作品2点を選出。入賞の40作品は、11月16日から12月5日まで中央図書館エントランスギャラリーにて展示される。

⑥日学歯 学校歯科医生涯研修制度について

大阪市学校歯科医会 林 昭典 常務理事
最初の基礎研修会の修了期限が10年間ということでその更新研修会を9月20日に実施した。教育関連法規の説明、健康診断の改訂点、歯と口の安全、滅菌と消毒について研修を行った。基礎研修を終えた477名のうち207名が受講し、12月1日にも同じ研修を行い残りの先生に受講してもらう予定である。

閉会挨拶 副会長 井手 成信

✳ 平成30年度 大阪二学歯連絡協議会 ✳

府学歯と市学歯の情報交換会である二学歯連絡協議会は、11月10日（土）に大阪歯科大学のプラザ14で開催されました。両学校歯科医会からは9名ずつの役員が参加して大阪府歯科医師会からは片岡宏之副会長にご臨席賜りました。日学歯の理事をされている府学歯の水谷成彦常務理事から日学歯の最新の情勢についての説明後、市学歯と府学歯からは3題ずつの議題が提出されてそれに関する活発な情報交換が行われました。



日時 平成30年11月10日（土） 午後5時～6時

場所 大阪歯科大学 プラザ14

日	程	司会	大阪市学校歯科医会	専務理事	西本達哉
開	の		大阪市学校歯科医会	副会長	井手成信
会	辞		大阪市学校歯科医会	会長	岡本卓
長	挨拶		大阪府学校歯科医会	会長	田幡純之
来			大阪府歯科医師会	副会長	片岡宏
賓		大阪市学校歯科医会	大阪府学校歯科医会	会長	田幡純之
出		会長 岡本卓士	副会長 山野芳直	専務理事 上田直克	専務理事 吉川孝義
席		副会長 井手成信	専務理事 川上力典	常務理事 林昭徳	常務理事 藤野康徳
者		副会長 長崎三男	常務理事 藤野康徳	理事 長谷川昌徳	理事 吉松昌之
紹		専務理事 西本達哉	常務理事 岩本圭	理事 水谷成彦	理事 水谷成彦
介		常務理事 川上力典	常務理事 水谷成彦		
		常務理事 林昭徳			
		常務理事 藤野康徳			
		理事 長谷川昌徳			
		理事 吉松昌之			
		報告者 日本学校歯科医会			

報告・日学歯報告

議事・意見・情報交換

大阪市学校歯科医会から提出の情報交換

- ・日学歯 学校歯科医生涯研修制度「更新研修会」開催報告
- ・小学校における保健指導内容の変更
- ・指導者講習会での学校歯科医生涯研修制度「専門研修」講演会の報告

大阪府学校歯科医会から提出の情報交換

- ・学術講演会開催 平成30年11月15日（木）大ホール午後3時～
講師 日本学校歯科医会常務理事 横浜市旭区歯科医師会会長 江口康久万先生
- ・口腔機能育成への取り組みについて
- ・健康診断用紙、お知らせの統一と校務支援システムについて

閉会の辞

大阪市学校歯科医会 副会長 長崎三男

懇親会 午後6時～8時

水谷先生からの日学歯報告は来年度の役員改選や公益法人移行に伴う動きなどが報告されました。市学歯からの報告は「更新研修会」は林昭典常務理事が、「小学校の保健指導の件」は井手成信副会長が、「指導者講習会」は川上力常務理事から報告を行いました。その中で市学歯の更新研修会で未受講者が出た場合は府学歯の更新研修会を受講することで了解をもらえました。府学歯からの報告は「学術講演会」と「口腔機能育成」は水谷成彦常務理事から報告され、「校務支援システム」は上田直克専務理事が報告されました。また、平成30年度発行の「歯・口の健康診断マニュアル」の冊子を市学歯の参加者に提供していただきました。

平成30年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会

10月の第2回支部長会の開催後に、指導者講習会を実施するようになって5回目を迎えました。今年度は日学歯の竹内純子常務理事と野村圭介常務理事による生涯研修制度の「専門研修」についての講習会を開催いたしました。

「専門研修」は学校歯科医が学校での実践活動をより充実させるために「保健教育」「保健管理」「組織活動」の3つの領域で研修するものですが、今回はその中の「保健教育」についての講演だけでなく、ワークショップの体験実習も行いました。このグループワークによる学習指導案の作成実習は参加者にとって今後の学校歯科保健活動に大いに役立つ内容であったと思われま



- 1 開催日時 平成30年10月20日(土) 午後3時～5時
- 2 場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室
- 3 演 題 日学歯 学校歯科医生涯研修制度
専門研修「保健教育」について
- 4 講 師 日本学校歯科医会 竹内 純子 常務理事 (生涯研修担当)
日本学校歯科医会 野村 圭介 常務理事 (学術担当)
- 5 受 講 者 大阪市学校歯科医会 理事 支部長
- 6 日 程

会長挨拶

講師紹介と配布資料の確認

研修内容

【講義Ⅰ】 「保健教育」の目標 竹内 純子 常務理事
生きる力を育む学校での歯・口の健康づくりの意義や目的、取組を話され、健康教育の目標を達成するための指針を話されました。

【講義Ⅱ】 学校歯科医「保健教育」の意義と展開 野村 圭介 常務理事
学習指導要領の改訂点を解説され、アクティブラーニングを使った魅力的な歯科保健学習について説明されました。そして、少人数でのブレインストーミングによるワークショップの進め方を具体的に解説されました。

【学習指導案の作成】

- ①学習指導・授業の設計図を作成
その時間の児童生徒に身に付けさせたい資質や能力を達成させるための設計図
- ②学習指導・授業の進行表を作成
ねらい通りの学習指導を計画的効果的に進める進行表となる。抽象的な概念ではなく、指導内容と児童生徒の学習する姿が思い描けるような具体性が必要。

【ワークショップ】

- ①課題を抽出して各班のテーマを決める
小学校や中学校における生活習慣や食生活習慣、歯みがき習慣の年次比較データから各班毎に事前にテーマの設定を行いました。
- ②そのテーマに沿って、実際の解決策としての指導案を作成する
テーマに関するブレインストーミングを行い、思いつく内容を付箋に書いて模造紙

に張り付けました。そして、その中から学習活動の導入や課題の追究や解決についてグループ毎に意見を集約してまとめました。

③各班の代表者からの発表を行う

班毎のテーマについて作成した学習指導案を5分の制限時間で発表しました。

④指導講評

講師の両常務理事から各班が作成した学習指導案についての評価をしていただきました。また、「今日の講習会の開催方法は、日学歯の次回の専門研修の参考にさせてもらう」とのお言葉をもらいました。

7 ワークショップの班分け

小学校A班 助言者 普光江理事 梅本理事

(支部長) 北北 奥村支部長・北大淀 尾辻支部長代理・都島 岡山支部長
◎天王寺 西本支部長・西淀川 松田支部長・東淀川 辻本支部長

(テーマ) 食生活習慣の『清涼飲料水を毎日飲まない』

小学校B班 助言者 ◎讚井理事 川上常務

(支部長) 旭 赤塚支部長代理・城東 松本支部長・住之江 杉本支部長
住吉 西川支部長・西成 清水支部長

(テーマ) 歯みがき習慣の『歯をみがいても歯ぐきから血が出ない』

幼・中・高A班 助言者 柳田理事 長谷川理事

(支部長) ◎此花 上野支部長・中央東 柴田支部長・◎中央南 田寫支部長
西 横石支部長・大正 鳥羽支部長・淀川 藤野支部長

(テーマ) 食生活習慣の『食べ物をよく噛んで(1口30回)食べる』

幼・中・高B班 助言者 上田理事 吉松理事

(支部長) 生野 林支部長・東成 林支部長・浪速 眞弓支部長代理
阿倍野 川西支部長・平野 吉田支部長・◎河村学術部員

(テーマ) 歯みがき習慣の『歯・口のけがをしないように気を付ける』

◎の先生が各班が作成した学習指導案の発表者です
※助言者は専門研修の受講修了者や受講研修中の理事が担当しました。



平成30年度 子どもの歯を守る懇談会 開催状況

区	校 園 名	実 施 日	内 容	講 師
港	築港小学校 養護教諭:藤田真理子先生	平成30年6月13日(木) 13時45分~14時30分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ 食生活と食育/ブラッシング	理 事 讃井 茂行
講演会(保護者教室)				
住吉	我孫子中学校 養護教諭:大宮芳美先生	平成30年6月27日(水) 11時50分~12時30分	鼻呼吸	常務理事 林 昭典
講演と実習				
大正	大正東中学校 養護教諭:小川香津子先生	平成30年7月6日(金) 13時25分~14時15分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ 咬合と歯並び/食生活と食育/ ブラッシング/喫煙との関連	理 事 柳田 和彦
1年生対象の講演会				
東住吉	東住吉中学校 養護教諭:松浦知里先生	平成30年9月6日(木) 15時30分~16時30分	歯肉炎・歯周病予防/ 食生活と食育	理 事 柳田 和彦
保健委員会				
淀川	新東三国小学校 養護教諭:谷口佳美先生	平成30年10月25日(木) 14時45分~15時30分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ 咬合と歯並び/歯の外傷	常務理事 藤野 康徳
講演会(保護者教室)+学校保健委員会				
住之江	北粉浜小学校 保健主事:田嶋優子先生	平成30年11月26日(月) 14時50分~15時35分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ 食生活と食育/ブラッシング	副 会 長 長崎 三男
保健委員会(16名)+給食委員会(21人)				
西淀川	姫島小学校 養護教諭:竹下雅代先生	平成30年11月29日(木) 14時40分~15時25分	むし歯予防/ 歯肉炎・歯周病予防	理 事 普光江 暁
保健委員会				
西成	梅南中学校 養護教諭:高橋 晴香先生	平成30年12月5日(水) 13時25分~15時15分	食生活と食育/ブラッシング/ フロッシング	常務理事 美島 達平
歯と口の健康教室				
中央東	中央高等学校 養護教諭:細尾由香利先生	平成31年1月10日(木) 15時35分~16時15分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ ブラッシング/喫煙との関連	理 事 吉松 昌之
生徒対象の講演会				
天王寺	桃陽小学校 養護教諭:大谷敦子先生	平成31年1月11日(金) 14時45分~15時30分	歯肉炎・歯周病予防/ 歯の外傷/あいうべ体操	専務理事 西本 達哉
保健委員会				
天王寺	真田山小学校 養護教諭:木村麻美先生	平成31年1月15日(火) 14時50分~15時35分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ 咬合と歯並び/食生活と食育/ ブラッシング/歯の外傷	専務理事 西本 達哉
児童対象の保健委員会				
旭	旭陽中学校 養護教諭:小西和代先生	平成31年1月21日(月) 13時30分~14時20分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病予防/ ブラッシング	理 事 上田 裕彦
1年生対象の講演会				
都島	都島小学校 養護教諭:岡田佐和子先生	平成31年1月25日(金) 13時45分~15時25分	むし歯予防/歯肉炎・歯周病/ 食生活と食育/ブラッシング	理 事 梅本 匡
学校保健委員会				

大阪市立玉出幼稚園

文部科学大臣賞の受賞

優秀賞候補校にかかる実地審査に参加して 常務理事 川上 力

平成30年9月6日に日本学校歯科医会から、柘植・平塚両副会長が来園され、実地審査が実施された。私を出迎えてくれたのは、園児の明るい笑顔ではなく、近年まれに見る大型台風の置き土産であった。園は公園に隣接しており、登園時には、園児の傍らをがれきや、倒木を公園に運ぶ市民が散見された。園周辺には全く土地勘がないので、絶対に遅刻すまいと、早く起床したため、集合時間より1時間以上前に玉出幼稚園に到着した。そのため丁寧に清掃する職員の姿も見ることができた。それに違わず、園内の衛生状態は良好に保たれていた。私の存在に気づいた職員によって、応接室に通されたが、整頓された室内、またすぐに使用できるように用意された手作りの紙芝居や指導用ツールを念入りに見ることができた。全員が集まった後、園長から、教育の方針、園の状況等の説明があったが、他の話題として興味を引いたのが、御当地野菜の「こつまなんきん」と「玉手箱伝説」であった。その後は実際の保育を見学、掲示物、或いは、グラウンドを活発に駆け巡る園児の姿を見ることができた。



玉出幼稚園で特筆すべき取り組みは「栽培活動」である。土壌を作ってから播種し、苗を植えて世話をする。そして花が咲き結実、収穫する。家庭に持ち帰って食する、即ち収穫の喜び、味わう楽しさを共有する取り組みである。収穫量は時により異なる。少ない時にはくじ引きで配分したり、野菜おみくじを作ったりして、園児がわくわくするような取り組みをしている。また園で栽培している野菜の成長を観察したり、食育として食材に触れて何かを当てるといったクイズ形式を考案している。見て、触れて、感触を確かめ、匂いを嗅いで、五感を通してより関心を持たせるように導いている。展示ホールには多数の園児達の活動の掲示物があったが、その一角に期待どおり、前述の「こつまなんきん」が鎮座していて、日学歯の副会長はもと



より、関係者の注目を集めていた。屋外に出て、何気なく収穫物を見ていると、園児の一人が近寄ってきて自発的に説明をしてくれた。植物の成長、観察、味わうということは、貴重な経験である。昨今、工場のような形式で作られる作物も多いと聞く。太陽と大地、生命のエネルギーを得られる経験は希少なものである。加えて私は、他の生物の来訪も期待できると考える。植えた植物を中心に、昆虫をはじめいろんな生物の「ゆりかご」を形成し、それ自体も教材

になるのではないだろうか。

園では、年齢の異なる園児同士でグループを形成して、交流を図っていたり隣接する小学校と校種間連携をし、双方の教育に役立てている。

園内の見学を終えたのち、再び応接室に戻り、日学歯の評価を聞くことができた。褒めることに終始せず、細部にわたり数字的に考察し、改善すべき箇所を指摘し、意見を述べられたのは今後の市学歯にとって大変参考になった。

支部の運営について 支部長座談会 PART II

【日 時】平成30年11月22日(木) 午後7時～

【場 所】大阪市学校歯科医会 分室

【テーマ】支部の運営について

【参加者】岡本 卓士・西本 達哉・江上 一郎

柴田 啓子・横石 篤始・辻本 研二

林 正純・川上 力・藤原 成樹

【司 会】羽生卓也(広報担当常務理事)



羽生：本日は市学歯会報の企画と致しまして、前号に引き続き支部長座談会の第2弾を行います。ここにお集まりいただきました7名の支部長先生には各々の支部運営について熱く語っていただきたいと思います。それではまず岡本会長にご挨拶をいただきます。



岡本：今日はお忙しいところ、お集まりいただきまして有難うございます。前回のこの企画がたいへん好評でしたのでPART IIを行うことになりました。支部長先生も他支部のことは意外と知らないことが多くて、驚かれることも多々ございました。本日は支部の現状についてよろしく願い致します。

羽生：ではまず支部総会と会費についてお伺いしたいと思います。私のお隣の横石先生から順番にお願い致します。

横石：西区では総会を年1回開いています。特徴としては、普段は行き難い有名なレストラン等で豪華に行っています。そうすることによって、皆が楽しみにして欠席者も減るだろうという理由からです。西区の年会費は2万2千円です。よその支部では何千円で運営しているところもあるから、値下げ検討の意見もあるのですが、それでは美味しいものが食べられない(笑)。先日、これについて採決したところ、今のままでいこうという結論になりました。

辻本：東淀川支部で平成24年から支部長をしています。総会は毎年4月の第1か第



2土曜日、岡本会長にも来ていただいて17時から総会、18時から懇親会という段取りで行なっています。平成4年から約20年間、同じホテルを利用していたのですが、会員数名が「もっといいものを食べたい」と言い出しまして(笑)、4年前にウエスティンホテルに変えてから食事が美味しくなりました。年会費は2万円、別に総会後の懇親会費として7千円貰っています。懇親会には区長や区学校医師会・区学校薬剤師会・区歯科医師会の会長にも来てもらっています。会費は他に資料作りや講習会の費用、校医が辞めた時の退職金、周年事業などに使っています。周年事業は40周年を平成25年にしましたが派手なことはせずに記念誌を出しました。

藤原：東住吉支部は大人しい支部で、年会費も5千円しか集めていません。総会は年度末に行っています。今回、他支部のお話を聴いて、うちも会員の親睦の懇親会をしてもう少し盛り上がるような雰囲気にしていけたらと思います。皆さん、いろいろと教えてください。

岡本：東住吉区支部はそんな大人しい支部ではなくて学校歯科活動が活発な支部だと認識しています。2年前には日航ホテルの豪華な部屋で講演しましたし、支部には熱心な会員も多くおられて 私が一番多くの講演を依頼された支部だと思います。

江上：北区・大淀支部は府歯の中で一番小さな支部でして、今、お話しされた3支部さんとはだいぶ違って特化されています。総会は年1回ですが、毎年、旅行に行っています。それも三師会と言ひまして、区の

医師会、歯科医師会、薬剤師会の全校医が一緒に参加する旅行です。新海先生が支部長の時に医師会と相談されて始めて今も続いています。

羽生：総勢何名くらいの旅行になるのですか？

江上：来る先生は決まってくるんですが、歯科が一番多くて全員で30数名くらいで、5月の最終の土日に毎年行きます。会費の件ですが、旅費込みで7万円です。遠い所では札幌とか、出雲とか九州とか…。以前はそんな遠いところまで行っていましたね。今では一泊の近場の温泉旅行になりましたが、旅行の欠席者には3万円の旅行券を渡します。

横石：総会は各支部いろいろですが、江上先生の支部の三師会ぐるみの旅行は素晴らしいですね。是非続けられたらよろしいかと思えます。

藤原：私もそう思います。またゼロからそういう支部旅行を立ち上げるのは大変ですよ。

林：東成区支部の総会ですが年1回、4月に行います。任期は2年で改選の無い年は1泊の旅行をしています。改選の年はニューオータニの花外楼で土曜日の昼間に総会をしています。会費は年2万円で総会費2万円をあわせて実質4万円になります。また2校（小学校・幼稚園）の先生は会費4万円、総会費は3万円をあわせて7万円を頂いています。そこから総会費を含む旅費、ホテルの食費を賄っております。総会は花外楼と1泊の旅行を1年毎に交互に行います。また欠席の先生には旅行、食事を問わず1万円の商品券をお送りしています。前任の加藤仁朗先生のお陰でよくまとまった支部運営ができています。

羽生：例えば旅行はどんな所へ行かれたのですか。

林：前は和歌山へク工鍋を食べに行きましたね。4月だったのでク工鍋のシーズンが終わるギリギリでした。全て会費の予算内で行いますので、旅費の徴収はありません。

柴田：中央区東の支部長を藤井先生から継いで3年目になります。総会は年1回、5月くらいにしています。総会の後、親睦のため食事会を行います。会費は月4500円ですので年間5万



4千円になります。その中から市学歯、日学歯の会費の4万3千円を払って、残りを保健協議会の分担金や懇親会に当てています。懇親会は5万円もらっています。

岡本：では実質的には支部の年会費は1万1千円ということですね。どこで食事会をされるのですか。

柴田：私、食べる事が好きなので、和食を落ち着いて頂けるお店とかですね。会員は10名と少ないですが、8名ぐらいは参加してくれます。

川上：鶴見区です。前任の小野先生から支部長を引き継いでいます。市学歯独自の活動は無く会費もありません、総会も区歯科医師会のそれに便乗する形で、国保、連盟の後に学校歯科が報告しています。

岡本：4年前程にニューオータニに呼ばれて行きましたが、あの時は学校歯科だけだったですよ。

川上：あれは特別でして、鶴見区が推進事業を受けるという事になって、会長に説明に来てもらいました。

羽生：それでは次に支部の会員研修会についてお話をお願いします。

横石：研修会は3年に1回くらいのペースで行っております。岡本会長に来てもらったり、支部の先生に矯正の話をしてもらったりしています。30分くらいで短いですが、毎年するのは企画も難しく3年で1回にしています。

辻本：平成6年から毎年9月頃にやっています。平日の夜間ですが。最近は区学歯会員のみなならず、歯科医師会会員にも門戸を開いて参加してもらっていますが、講師料などの予算はこちらで出しています


藤原：東住吉区では総会の後、30分程度ですが研修会をしています。それとは別に研修会もして最近では浪速区の豊田先生に講演してもらったりして食育に力を入れております。

岡本：東住吉支部は立派な良い会館を持っておられますね。歯科医師会も法人化をされるのも早かったですしね。

藤原：いえいえ、会館というには小さいです。ただ、今まで少しもったいないなあという思いもあったのですが、先生方のお

話でいろいろな会合にホテルを使ったりしておられるのを聞きますと、会館を使えるのでこれで良かったのかなとも思います。

江上：研修会は三師会の持ち回りの旅行先で検診の注意事項やCOの検出について話をするぐらいで、他支部のような研修会はしていません。これから考えていきたいと思えます。

岡本：でも古い話になりますが、私の市学
 歯理事での講演会・講師デビューは大淀区だったのですよ。中津に昔あった東洋ホテルで、15年ぐらい前に、講演内容は当時始まったばかりの「6年生の歯と口の健康教室」について話しました。

林：東成区も基本的には独自の研修会は行っておりませんでした。総会と抱き合わせの形で今年度からやろうじゃないか、ということになりました。私が講師になって第1回目を行いました。社保講習会も兼ねて（笑）支部長会で指摘を受けたCO・GOの事も話しました。また岡本会長や役員の方から来てもらっている先生方からいろいろ教えていただきたいと思っております。

柴田：中央区東では会員研修会はしたことはありません。でも今日皆さんのお話を聞いて、やっていく方向で検討したいと思っています。

川上：うちの支部では研修会をしたくても人数が集まらないのが現状です。ただ、以前、支部総会を北浜の花外楼でやった時はびっくりするぐらいの人数が来たことがあったので、その手を使えばやれるかなあと思っています。（笑）

羽生：では、次の話題の学校保健協議会と学校保健大会について聞かせて下さい。横石先生からどうぞ。

横石：年1回、西区民ホールで協議会がありますね。今年は食育についての話でした。会費は学校歯科からではなく歯科医師会の本会計から1万円だけ出しています。まあ、どちらもPTA主体の行事なので学校保健協議会の副会長の井手先生に出席してもらっています。

辻本：保健大会は2月頃の寒い時期にありまして協力金は学校歯科から2万円出しています。講師は外部から有名な人に来てもらっています。講師料は10万円が頭で、


参加者は100名ぐらいでしょうか。PTAが主体になって聴講者を動員してくれています。

岡本：100名も来るのはどんな所でされるのですか？

辻本：区民ホールです。300人収容位のキャパですかね。学校医会、学校歯科医会、学校薬剤師会の4つが持ち回りで担当する訳です。4年に1回の担当に当たる年は講師の人選とか、講師料とかいろいろ大変です。

林：府歯本会は、はっきりと金額を決めています。確か教授7万円、准教授から講師が5万円だったと思います。

藤原：東住吉区では学校保健協議会は理事会は年3回、総会は年1回行います。講演も行っていて岡本会長に来てもらったり、豊田先生にはここでも食育の講演をしてもらいました。学校歯科から年3万円の拠出金を出しています。

江上：学校歯科医会は北区大淀支部として
 独立していますが、この学校保健協議会と保健大会については北区の行政が深く関わっていますので、支部単独で決められない行事になります。つまり、北区北支部さんと共同で仕事をしていて、この学校保健協議会は医師会が主導権を取っています。北区には済生会病院とか大きい病院があるので医者関係の講演が多いです。そんな事情もあって、小さなうちの支部は、どちらかというと単に行事に顔を出しているだけといったスタンスですね。

林：東成区では毎年、学校保健協議会の総会が6月、保健大会が11月にあります。そしてこれに対する拠出金は年間2万円となっております。協議会の会長は一年毎に医師会、歯科医師会と持ち回りです。ところが、その両組織のトップが会長となる事が決まっているために、場合によっては校医でない先生が会長に就任するという不思議な事態を招く事もあります。保健大会の方は三師会が2年に1回当番が回って来ますが、他に各校の養護教員会も加えて持ち回りで担当しています。講演が回ってきた時は私や支部の先生で担当しています。

藤原：すみません。質問なんですけど、私、学校保健協議会ってどこでも同じで統一されているものかと思っていましたが、会長が

区によってこれ程違うとは知りませんでした。では責任の所在は何処になるんですか？

全員：区の行政になると思いますね。

岡本：協議会の会長は小・中の校長先生が医師会の会長を務める区がほとんどですが、大阪市学校保健会は大阪府医師会の茂松会長がされているので医師会が会長をするのが多いように思います。

柴田：中央区東は中央区南と合同で中央区役所内において養護教員や一般教員と一緒に保健協議会を行っています。分担金は年間2500円です。また、今年度の学校保健大会は南中学校の校長先生が中心となって行われました。毎回、三師会会員や教員の先生方を始め、多くの参加者の下で開催されています。以前は西本専務が講演されましたが、来月の12月に市学歯の上田裕彦理事に講演に来てもらいます。

川上：学校保健協議会は推進事業をした事もあって4年連続で歯科が講演を担当しています。最初は朝日大学歯学部磯崎学長にお願いして、その次は私と林昭典常務と西本専務の3名で講演しました。去年は市学歯の会員研修会にも来てもらった「ためしてガッテン」の北折一さんで、今年は豊田先生に食育の講演をしてもらいました。



羽生：では校医の退任と新任校医の選考や養護教員との交流についてお願いします。

林：退任に関しては2校掛け持ちの先生の場合は、こちらから1校を後任に譲ってほしいとお願いするようにしていますが、原則としてはご本人が辞意を表明されるまで引退の勧告等一切しておりません。また、新任に関してはまずは近隣・距離を重視しますが、ケース・バイ・ケースでうまく行きそうな場合は支部長の判断で決めます。また養護教員に関しては学校保健大会と絡めて各学校単位で個別に対応してもらっています。あと行事としては区の歯の健康展の時に学校歯科のコーナーにパネル等を展示したりしていますね。

横石：退任については今までは会員の自由にしていましたが、昨年度から70歳になったら、あくまでも自主的にですが引退を考えていただく事になっています。そして75歳になったら、支部長から引退の勧告をすることにして総会での確認事項にし

ました。来年75歳になられる先生がおられますので引退勧告をする予定です。あと養護教員会との交流、旅行、その他の行事はありません。

辻本：退任はその人任せです。新任には条件がいくつかありまして、まず歯科医師会会員であること、60歳未満であること、支部入会后5年以上経過していること、できれば校区内に診療所があることと思いますが、学校からの距離よりも支部に協力的な人物かどうか、などいろいろ考慮して役員会で決めます。

藤原：東住吉は他支部と違ってまして、地区の歯科医師会の理事を1期以上務めないと校医になれないのです。近隣か校区などは関係無しで歯科医師会に協力的な先生を選びます。つまり区歯科医師会と区学校歯科医会との関係が極めて密着しています。今回も1名の交代がありますが学校から遠いですが歯科医師会の理事がなります。良いか悪いか別にして、私はそれが普通だと今の今まで思い込んでいたので、皆さんのお話を初めて聞いて驚いているのです。それだからいつもうちは歯科医師会の行事と同時に学校歯科医会の行事もあるのですよね、きっと。



西本：東住吉区は歯科医師会と合同の学校歯科医会の研修会があって、去年検診の注意事項や検診基準について講演に行きました。これは歯科医師会の先生にも検診内容を詳しく知ってもらおうという主旨だと思いましたが、そういうバックグラウンドがあったのですね。

岡本：東住吉支部を見てきて、なんとなく何処か他と違うなあと感じていましたが、そういう事やったのですね。まあ、区歯科医師会の理事が区学校歯科医を務めるというのは、しっかり責任を持ってやってもらえそうで良いかもしれませんね。学校歯科の会合にも出席してくれない会員は困りますからね。

江上：うちなんか人数が少ないですし、学校歯科は歯科医師会と連携していますので、区歯科医師会理事と区学校歯科医がダブルるのはよくありますね。私の前の支部長は永年勤続表彰をもらった時に校医をやめられました。今日は他支部の規定を色々聞かせてもらって私が現在71歳ですけど、75歳になったら辞めようかと思っています（笑）

柴田：学校歯科医の退任については自己の申告に任せております。新任の選考については、一番近隣で協力的な先生を選んでおります。年齢は関係ありません。子育て世代より年齢が上の先生が多いので学校にアドバイスもできます。何かトラブルたらずに連絡をもらって対応します。若い世代の開業したての先生は学校歯科医になりたがらない傾向があって、今年交代された新任の先生は年齢制限がないので60歳を超えています。旅行や行事も今は特にありませんが、徐々に変えていって若い先生方にも魅力のある学校歯科医会にしていきたいと思っております。

岡本：学校歯科医に選ばれるというのは校區の中で一段上の存在になれると思うのですが、若い先生に断られるのは残念ですね。でも、柴田先生が支部長になられてから中央区東は俄然盛り上がっている感じがしますよ。唯一の女性支部長としてますます頑張っていたきたいと思っております。

川上：鶴見区は新任を選ぶには本来は学校に近い先生が良いのでしょうか、歯科医師会に入会した順番制でやっています。学校歯科医の交代の際にはその順番に声をかけますので、学校が遠くても学校歯科医をしてもらうというルールにしています。私が支部長やっていて決めたことは、近隣でない先生に学校歯科医就任を頼んで拒まれる事がありますが、その先生には今後頼まないようにしています。養護教員会との交流は推進事業をしている時はありましたが今はありません。

横石：さっき退任の話はしましたが、新任については言いそびれたので言っときます。西区では学校歯科医会は立派な独立した組織であると考えておりますが、当支部では推薦する新任校医を選定したら、告知前にその案を区歯科医師会の理事会へ上げて承認を貰う手続きを踏んでおります。もし、そこで承認が得られなかったら次の候補の先生を理事会に推薦することになっています。また、東淀川区支部さんと同じですが、開業されて5年以上で支部に協力的な先生で、ある程度遠くてもお願いできるならば可と考えております。

岡本：なるほど、よく分かりました。皆さんのお話を聞いていると学校歯科医になりたい先生が多い支部と少ない支部に分かれるみたいですが…。当会としてはやはり人気があるほうが望ましいですし、選ばれるのは名誉と思ってくれると嬉しいのです。

西本：私は前任の先生が急逝された後を受けける形で、40歳過ぎてから学校歯科医になったのですが、それまで全く学校歯科医について知らなかったのです。もっと学校歯科やそこで活躍する学校歯科医について周知する必要があると思えます。



若い先生は自分の診療所を守るのが精一杯ですが、学校歯科という新しい分野の事を教えてあげれば興味を持ってくれる人も出てくるのではないのでしょうか。

辻本：私も長いこと学校歯科医をやっていますが、支部長をしなかったら単なる検診屋でしかなかったと思っています。支部長会や指導者講習会でいろいろな問題点を聞いて、それに対する自分の考えを表明して皆で討論できるのは支部総会の場合しかない訳ですね。養護教員との懇談会は平成6年から毎年11月頃に開催しています。今年阿倍野支部の河村泰治先生にフッ化物について11月29日に講演してもらいます。

江上：私たちは子どもたちの歯を守るという大前提がありますから、その為には時間を裂いてでも出て行かねばならないと思っていますからね。

藤原：支部は同じシステムで動いていると思っていたので、今日、皆さんの話を聞いて全然違っていたのでびっくりしました。

岡本：こんなことを言うと自画自賛のようですが、大阪市の学校歯科の水準は全国でも屈指の高レベルにあります。我々の行う歯科保健活動は日学歯の理事の先生方や全国の政令指定都市の学校歯科関係者からも賞賛していただける程、質の高いものであると自負してよいと思っています。そしてそれは他ならぬ大阪市学校歯科医会各支部の支部長先生並びに支部会員の熱意によって支えられているのは間違いありません。今後とも市学歯のために、そして何より大阪市の子どもたちの健康と未来のために先生方のお力をお貸し下さい。(拍手)

羽生：それでは西本専務から閉会のご挨拶です。

西本：本日は本音でトークできて良かったと思います。支部長先生方の熱心さで会も発展すると認識させられました。また今後ともよろしく願います。(拍手)

一同：ありがとうございました。



平成30年度 慶びに輝く先生方



大阪市市民表彰 永年勤続表彰

美島達平先生	北区大淀	豊崎中学校
樋口春彦先生	北区北	扇町小学校
片岡雅彦先生	福島区	上福島小学校
額田和門先生	中央区東	愛珠幼稚園
渡内信嘉先生	生野区	東中川小学校
長崎林太郎先生	鶴見区	茨田中学校
柳田和彦先生	住之江区	南港北中学校
中村 聡先生	住之江区	南港南中学校
水井雅則先生	平野区	喜連西小学校
齊田 稔先生	西淀川区	姫島小学校
浅野清一先生	平野区	加美南部小学校

日本学校歯科医会会長表彰

古稀の御祝い

河野長行先生	北区北	奥野夏樹先生	北区北
森 裕継先生	此花区	入江 正先生	西区
小林とし子先生	西区	片岡正男先生	西淀川区
井上隆史先生	東淀川区	中谷憲博先生	旭区
久保 研先生	阿倍野区	林 潤先生	東住吉区
岡田充泰先生	東住吉区	浅野清一先生	平野区

お知らせ

1. 平成30年度 第59回大阪市学校歯科保健研究大会

平成31年2月21日（木）午後2時～5時 大阪府歯科医師会館 大ホール
第1部の表彰式のあと、第2部の研究協議会では、天王寺区の「歯・口の健康づくり推進事業」の2年間の研究成果が発表されます。

2. マウスガード作成実習講習会

平成31年3月16日（土）に前田芳信教授による支部長と理事を対象にしたマウスガード作成実習の講習会を開催します。

3. 平成30年度 臨時総会

平成31年3月28日（木）午後2時より 本会 第6会議室で開催します。

4. 平成31年度 新任学校歯科医・基礎研修合同研修会

平成31年4月11日（木）午後2時～5時30分 本会 第6会議室
新任学校歯科医の先生方以外に、過去の基礎研修会の未受講者の先生方も受講対象者になります。

5. 創立80周年記念誌が国立国会図書館に納本されました。

文化財の蓄積及びその利用に資することを目的とする国立国会図書館法に定められた納本制度により、平成23年に発刊した創立80周年記念誌が納本されました。

会務報告

平成30年	(H30.7.1 ~ H31.1.31)
7月6日(金)	子どもの歯を守る懇談会(大正東中学校)
7月12日(木)	第3回 広報部会(分室)
7月13日(金)	大阪市学校保健会 平成30年度 常任理事・理事会/定時総会(大阪府医師会館)
7月14日(土)	第4回 理事会(リアライブ)
7月19日(木)	市教委との打合せ会(府歯 第6会議室)
7月19日(木)	第4回 広報部会(分室)
7月26日(木)	第40回 近畿学校保健連絡協議会(和歌山県民文化会館)
7月26日(木)	日学歯 更新研修会(日歯会館)
8月7日(火)	平成30年度 大阪口腔衛生協会評議員会(府歯 大ホール)
8月9日(木)	第5回 理事会(松下ビル)
8月25日(土)	第42回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会(ホテル日航金沢)
9月1日(土)	社会見学会 オリックスVS.西武ライオンズ(京セラドーム)
9月2日(日)	学校歯科医 生涯研修制度「専門研修」保健教育(日歯会館)
9月6日(木)	第57回 全日本学校歯科保健優良校表彰実地審査(玉出幼稚園)
9月6日(木)	子どもの歯を守る懇談会(東住吉中学校)
9月6日(木)	第6回 移動理事会(天繁)
9月13日(木)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」並びに 「歯・口の健康啓発標語コンクール」審査会(大阪市役所)
9月19日(水)	日学歯 第2回 学術委員会(日歯会館)
9月20日(木)	日学歯 生涯研修制度 第1回 更新研修会(府歯 大ホール)
10月4日(木)	第7回 理事会(松下ビル)
10月11日(木)	学校歯科保健連絡協議会(ホテルアウリーナ大阪)
10月20日(土)	第2回 支部長会/指導者講習会(府歯 第6会議室)
10月25日(木)	子どもの歯を守る懇談会(新東三国小学校)
10月25日(木)	第68回 全国学校歯科医協議会/ 平成30年度 全国学校保健・安全研究大会(鹿児島市)
10月26日(金)	平成30年度 全国学校保健・安全研究大会(鹿児島市)
11月8日(木)	第8回 理事会(府歯 第6会議室)
11月8日(木)	大阪市よい歯の学校・幼稚園表彰審査会(府歯 第6会議室)
11月10日(土)	大阪二学歯連絡協議会(プラザ14)
11月16日(金) ~ 12月5日(水)	歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語 展示(中央図書館)
11月22日(木)	支部長座談会 Part II(分室)
11月25日(日)	学校歯科医 生涯研修制度「専門研修」保健管理(日歯会館)
11月26日(月)	子どもの歯を守る懇談会(北粉浜小学校)
11月29日(木)	第5回 広報部会(分室)
11月29日(木)	子どもの歯を守る懇談会(姫島小学校)
12月1日(土)	日学歯 生涯研修制度 第2回 更新研修会(府歯 大ホール)
12月5日(水)	子どもの歯を守る懇談会(梅南中学校)
12月6日(木)	第82回 全国学校歯科保健研究大会(沖縄県宜野湾市)
12月7日(金)	第82回 全国学校歯科保健研究大会(沖縄県宜野湾市)
12月13日(木)	第6回 広報部会(分室)
12月13日(木)	平成29・30年度 「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」 天王寺区 研究発表打合せ会(大阪市役所)
12月20日(木)	第9回 理事会(天王殿)
平成31年	
1月10日(木)	第7回 広報部会(分室)
1月10日(木)	子どもの歯を守る懇談会(中央高校)
1月11日(金)	子どもの歯を守る懇談会(桃陽小学校)
1月15日(火)	子どもの歯を守る懇談会(真田山小学校)
1月17日(木)	第8回 広報部会(分室)
1月21日(月)	子どもの歯を守る懇談会(旭陽中学校)
1月24日(木)	第10回 理事会/新年互礼会並びに受賞祝賀会(ホテル日航大阪)
1月25日(金)	子どもの歯を守る懇談会(都島小学校)
1月31日(木)	大阪市学校保健会 常任理事・理事会/新年会(ヴィアーレ大阪)

平成 年 月 日

学校歯科保健教材器具貸出 申込書

校 園 名 _____

学校歯科医名 _____

1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出有無	器 材 名	商 品 名	無償支給	個 数
	位相差顕微鏡	ペリオスコープ	—	貸出は1台のみ
		バクテリア・セルフチェッカー『見る菌』	—	貸出は1台のみ
	咬 合 力 計	オクルーザルフォースメーター	—	貸出は1台のみ
		ディスポーザブルキャップ	20個	個
	お口の万歩計	かみかみセンサー	—	Sサイズ 台
			—	Mサイズ 台
	顎 模 型	歯みがきじょーずくん	—	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	—	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	—	貸出は1台のみ
	糖 度 計	ATAGO ペン糖度・濃度計 PEN-J PEN-1ST	—	貸出は2台まで
	pH 計	ATAGO DIGITAL pH METER	—	貸出は1台のみ
	ガ ム	キシリトール入り咀嚼力判定ガム	20個	個
	りっぷるくん	口唇閉鎖力測定器	—	貸出は1台のみ
	りっぷるボタン		10個	個

2. 貸出希望日 ※貸出期間は1週間をお願い致します。

貸出希望 平成 年 月 日～平成 年 月 日(返却)

3. 貸出・返却方法

- ・教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。

FAX : 6774-0488

- ・貸出は、市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配致します。
- ・返却は、事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

4. 注意事項

- ・咬合力計のディスポーザブルキャップは、測定する児童生徒の人数分の個数を記入してください。

咬合力計で使用する「ディスポーザブルキャップ 20個」、「咀嚼力判定ガム 20個」、口唇力測定器で使用する「りっぷるボタン 10個」無償支給いたします。

ディスポーザブルキャップ：1個×46円 咀嚼力判定ガム：1個×116円

りっぷるボタン：1個×80円

それ以上の個数が必要な場合は有償支給となりますので、ご了承ください。

- ・かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
- ・それぞれの器材の付属品や備品は無くさないように返却をお願い致します。

5. 担当者連絡先

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加 ☎6772-8362

市学歯ホームページ更新情報

- 12月17日 第82回全国学校歯科保健研究大会をアップロードしました。
12月6日・7日に沖縄県で開催された全国学校歯科保健大会や表彰式の様子を紹介しています。
- 12月7日 会員研修会（第2回更新研修会）を更新しました。
12月1日に開催されました日学歯生涯研修制度の第2回更新研修会を紹介しています。
- 12月6日 図画ポスター入賞作品を更新しました。
11月16日から12月5日まで中央図書館に展示されました図画ポスター入賞作品や標語コンクールの入賞作品を紹介しています。
- 11月13日 大阪二学歯連絡協議会を更新しました。
11月10日に開催されました府学歯との情報交換や懇親会の様子を紹介しています。
- 10月24日 会員研修会（平成30年度指導者講習会）を更新しました。
10月20日の支部長会後に開催されました指導者講習会でのワークショップ形式による学習指導案作成の様子を紹介しています。
- 10月15日 学校歯科保健連絡協議会を更新しました。
10月11日に開催されました大阪市の学校保健関係者が一堂に集まる情報交換会の様子を紹介しています。
- 9月24日 会員研修会（第1回更新研修会）を更新しました。
9月20日に開催されました日学歯生涯研修制度の更新研修会の様子を紹介しています。
- 9月5日 平成30年度社会見学会をアップロードしました。
9月1日に開催されました社会見学会の京セラドームでのオリックス対西武戦の観戦の様子を紹介しています。
- 8月29日 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会を更新しました。
8月25日に金沢市で開催されました本協議会の様子を紹介しています。
- 8月22日 会員報告書を更新しました。
市学歯に提出していただいた幼稚園7園、小学校3校、中学校10校の「学校での講話や授業」の報告書を閲覧できるようにしています。
- 8月1日 会報175号をアップロードしました。
7月28日に発行しました会報175号を閲覧できます。

編集後記

毎年恒例の市学歯・社会見学会。今年は西区の京セラドーム大阪での野球観戦だった。その模様は当会報176号で3ページに亘って紹介されている。また表紙を飾る写真もその時のものである。今年も参加された先生方と、本当にとっても楽しい時間を過ごせた。しかし会員の中には「何故、野球なんか見に行くのか?」「市学歯として意味が無い」など疑問を抱かれる方もおられるのでは。現にそのようなご意見も頂戴したようだ。いや、全くもって御尤もである。市学歯と野球の関係性などもともと皆無なのだから。

そもそも社会見学会とは何か? 市学歯流に言う「我々学校歯科医が普段行かない所で集まって親睦を深める会」である。さらに「限られた時間と予算の中で」という条件が付く。よって毎年約500人の団体が一堂に会するのは無理だが、及ばずながら一部の先生や役員が交流し、お互いを知り、意思の疎通を計ることはできる。まあ、そんな会である。しかしこういった積み重ねが当会の運営をより円滑なものにしている点は否めない。つまり潤滑油のようなものなのだ。また普段行かない所へ行くのは、単に集まりを良くする為の方

策に他ならない。大事なのは何処へ行くかではなく、誰と行けるか…。そういう訳で毎年学校歯科とは無縁の世界で集まっていたいただいている。

勿論、学校歯科関連の催しは学術団体である市学歯に於いてはまさに本領発揮、得意中の得意である。毎年開催する会員研修会、大阪市学校歯科保健研究大会、学校教員向け各種講習会等、会員の先生方なら全て参加、もしくは見学可能である。

これを読んでおられる先生。今年は是非、その趣旨をご理解頂いて社会見学会にお越しになりませんか?

行く先は未定ですがきっと楽しいですよ。いろいろな先生や役員もいます。中には変な役員も居たりして。あ、それ私です(笑)。

第176号 平成31年1月31日 発行
発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27

大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会

広報部

電話 大阪 (6772) 8362

第76回

全国小学生 歯みがき大会

参加のご案内



大会期間 2019年6月1日(土)~10日(月)

歯と自分をみがこう。
全国の小学生と一緒に学ぶ歯と口の健康



DVDで参加する歯みがき大会です
1校時で実施できます!



主催：(一社)日本学校歯科医会 (一財)東京都学校保健会 ライオン株式会社 (公財)ライオン歯科衛生研究所
後援：文部科学省 東京都教育委員会 (公財)日本学校保健会 (公社)日本歯科医師会 (公社)東京都歯科医師会 (一社)東京都学校歯科医会
(公社)日本歯科衛生士会